



ディプロマ・ポリシー

- | 理学療法学科 | 保健医療学部 |
|--|--|
| <p>高い倫理観</p> <p>②医療における理学療法の役割、とくにその倫理的側面を理解し行動できる。</p> <p>豊かな人間性</p> <p>①幅広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につける。</p> <p>高い倫理観/豊かな人間性</p> <p>③全人的医療、患者さん中心の医療を原点に、患者さんを思いやり、病める人の視点で考える態度をもち、個性を重視した理学療法を行うことができる。</p> | <p>①人間の生命に対する深い愛情と畏敬の念を基盤として、高い倫理観と豊かな人間性を涵養すること。</p> |
| <p>国際水準の知識と技術</p> <p>⑤多様な臨床現場で実践可能な基本的な理学療法技術を身につける。</p> <p>問題解決能力と探究心</p> <p>④患者さんの身体的、心理的問題を解決するために、医学的知識を活用し、科学的根拠をもった適切な判断ができる。</p> <p>⑦理学療法の実践の中から理学療法研究の課題を発見し、それを発展させることができる。</p> <p>内省(自らの能力の限界を知る)/生涯学習</p> <p>⑩常に自らの能力を点検・評価し、生涯学びつづける姿勢を身につける。</p> | <p>②保健医療に関する国際水準の知識と技術の修得を基本とし、未知の課題を自ら解決する意欲と探求心をもつとともに、自らの能力の限界を知り、生涯にわたり自己の資質の向上に努めること。</p> |
| <p>協調性と協力</p> <p>⑥チーム医療の中で調整・連携の役割をはたすための適切なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>医療安全</p> <p>⑧医療安全管理の重要性を理解し、状況に応じた適切な行動をとることができる。</p> <p>地域医療への貢献</p> <p>⑨保健・福祉・医療チームの一員として地域医療に積極的に関わることができる。</p> | <p>③協調性に富んだ社会人として様々な職種の人々と協力し、医療の安全につなぐに留意するとともに、社会的視点に立って地域の保健医療に積極的に関わることができること。</p> |

【令和7年度 理学療法学科1年次 時間割表】

<前期>

* : 選択科目

時限	月曜日 [日高]	火曜日 [日高]	水曜日 [川角]	木曜日 [日高]	金曜日 [川角]	土曜日
1 9:00 ~ 10:30	英語Ⅰ (間山)			栄養学 (伴場)	人体の構造と機能演習Ⅰ(構造系) (時田)	
2 10:40 ~ 12:10	哲学* (ジリオ) <small>看1・工1・理1合同</small>	理学療法学概論 (大久保)	教育基礎セミナー (高倉)	物理学 (古谷)		
3 13:10 ~ 14:40	細胞生物学 (田邊)	人体の構造と機能演習Ⅰ(機能系) (藤原)	細胞生物学 (田邊)	社会学* (土居)		
	社会の理解 (嶋崎)		情報科学演習 (是村)			
4 14:50 ~ 16:20			細胞生物学 (田邊)			
			情報科学演習 (是村)			
5 16:30 ~ 18:00						

<後期>

時限	月曜日 [日高]	火曜日 [川角]	水曜日 [川角]	木曜日 [日高]	金曜日 [日高]	土曜日
1 9:00 ~ 10:30	英語Ⅱ (間山)	理学療法学概論 (大久保)	理学療法評価学入門 (森田)	公衆衛生学 (与五沢)	ドイツ語* (マルクス) <small>検1・理1合同</small>	
2 10:40 ~ 12:10	人体の構造と機能演習Ⅱ(機能系) (藤原)	人間発達学 (金井)		人体の構造と機能演習Ⅱ(機能系) (藤原)		
3 13:10 ~ 14:40	運動学 (澤田)	人体の構造と機能演習Ⅱ(構造系) (時田)	スポーツ科学* (赤坂)	物理学実験 (三島)	化学 (村上)	
	4 14:50 ~ 16:20		リハビリテーション医学 (池田)			
5 16:30 ~ 18:00					物理学実験 (三島)	

・臨床見学実習(國澤)

※日程の詳細は、シラバスにて確認すること。

目 次

科目名(科目責任者)

<基礎分野>

—科学的思考の基盤—

物理学(古谷 峻介)	9
物理学実験(三島 智)	13
化学(村上 元)	17
細胞生物学(田邊 一郎)	21
情報科学演習(是村 利幸)	25
教育基礎セミナー(高倉 保幸)	29

—人間と生活—

英語Ⅰ(間山 伸)	32
英語Ⅱ(間山 伸)	36
ドイツ語(マルクス・フォン・フライベルク)	40
社会学(土居 浩)	43
哲学(ジリオ インマヌエル・ダビデ)	48
スポーツ科学(赤坂 清和)	52

社会の理解(コミュニケーション、患者—医療人関係)(嶋崎 晴雄)	56
--	----

<専門基礎分野>

—人体の構造と機能及び心身の発達—

人体の構造と機能演習Ⅰ(構造系)(時田 幸之輔)	59
人体の構造と機能演習Ⅰ(機能系)(藤原 智徳)	67
人体の構造と機能演習Ⅱ(構造系)(時田 幸之輔)	71
人体の構造と機能演習Ⅱ(機能系)(藤原 智徳)	78
運動学(澤田 豊)	82
人間発達学(金井 欣秀)	86

—疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進—

栄養学(伴場 裕巳)	90
------------------	----

—保健医療福祉とリハビリテーションの理念—

リハビリテーション医学(池田 将樹)	93
公衆衛生学(与五沢 真吾)	97

<専門分野>

—基礎理学療法学—

理学療法学概論(大久保 雄)	101
----------------------	-----

—理学療法評価学—

理学療法評価学入門(森田 泰裕)	106
------------------------	-----

—臨床実習—
臨床見学実習（國澤 洋介） 112

講義名	物理学		
(副題)	基礎分野（科学的思考の基盤）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 古谷 峻介	医学部教員

担当教員	古谷 峻介
科目の目標	現代の科学技術の発展はめざましく、電子機器やコンピュータがいたるところに見られる。病院にはCTやMRIなど、最新の医療機器があふれている。これらの新しい技術に柔軟に対応できるようにするためには、その基礎となっている物理学の理解が必要となる。本講義では力学と電磁気学を中心に熱及び波動学を学習する。熱及び波動の医学利用分野である温熱療法など、医療分野への応用を織り交ぜながら講義を進める。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 力学分野の法則及び各物理量とその単位について列挙できる。 2) 電磁気学分野の法則及び各物理量とその単位について列挙できる。 3) 熱及び波動分野の法則及び各物理量とその単位について列挙できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	古谷		
	テーマ	国際単位系：測定、科学的方法と基本量、基本単位、誘導量		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理学の研究法を理解し、説明できる。 2. 物理量とその単位について理解し、説明できる。 3. 基本量と誘導量の違いを理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	古谷		
	テーマ	直線運動：運動の表示法：位置と速さ、加速度、等加速度運動		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 直線運動の位置、速度、加速度の概念を理解し、説明できる。 2. 自由落下運動の位置、速度、加速度の関係を理解し、計算できる。 3. 直線運動の等加速度運動の公式を理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	2限
	講義室	C203		

担当者	古谷			
テーマ	平面・空間運動：運動の表示法、等加速度運動、放物運動			
授業内容	1. 平面、空間運動の位置、速度、加速度の概念を理解し、説明できる。 2. 平面、空間運動の等加速度運動の公式を理解し、説明できる。 3. 放物運動の位置、速度、加速度の関係を理解し、計算できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	古谷		
	テーマ	運動の3法則、摩擦力と垂直抗力、運動量と力積		
	授業内容	1. ニュートンの運動の3法則を理解し、説明できる。 2. 質点系と重心系の概念、各種の力の原理と性質を理解し、説明できる。 3. 連結系の運動、バネ、滑車、斜面を含む系の運動を理解し、計算できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	古谷		
	テーマ	トルクとつりあい：法則・原理		
	授業内容	1. 力のモーメント(トルク)、質点系の静力学、剛体の概念を理解し、説明できる。 2. 力のつりあいの条件及びトルクのつりあいの条件を理解し、説明できる。 3. 生体内の力のつりあい及びトルクのつりあいの条件を具体例に適用し、計算できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	古谷		
	テーマ	トルクとつりあい：応用演習		
	授業内容	前回の具体例を応用問題に適用し、解くことができる。様々な応用問題(計算問題)を解くことができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	古谷		
	テーマ	力と仕事：仕事、仕事率、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー保存法則		
	授業内容	1. 仕事、仕事率、エネルギーの概念を理解し、説明できる。 2. 運動エネルギー、位置エネルギーを理解し、説明できる。 3. 力学的エネルギー保存の法則とその具体例を理解し、計算できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	古谷		
	テーマ	運動量と力積、運動量の保存法則		
	授業内容	1. 運動量、力積の概念を理解し、説明できる。 2. 運動量と力積の関係を理解し、説明できる。 3. 運動量の保存の法則とその具体例を理解し、計算できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	古谷		
	テーマ	電荷と電荷保存則、電流、電気力、電場、電位		
	授業内容	1. クーロンの法則を説明し、電荷間に働く力を計算できる。 2. 電場の概念を説明し、電荷が作る電場を計算できる。 3. 電位の概念を説明し、電荷が作る電位を計算できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	2限
	講義室	C203		

担当者	古谷			
テーマ	導体と電場、キャパシター、オームの法則、キルヒホッフの法則、電流と仕事率（電力）			
授業内容	1. キャパシターの働きについて説明し、平行平板キャパシターの電場、電位を計算できる。 2. オームの法則を説明し、抵抗の直列・並列接続回路の合成抵抗を計算できる。またキルヒホッフの法則を使って回路の電流・電圧を計算できる。 3. 電流の仕事、仕事率を説明し、具体例を計算できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
11	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	古谷		
	テーマ	磁石と磁場、電流による磁場、ローレンツ力、電磁誘導、交流回路の抵抗（インピーダンス）、電磁波		
	授業内容	1. 電流が作る磁場について説明できる。 2. 電磁誘導の法則について説明できる。 3. 電磁波の種類を挙げ、その性質を説明できる。 4. 抵抗、コンデンサー、コイルの交流抵抗（インピーダンス）について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	古谷		
	テーマ	力学及び電磁気学のまとめと演習		
	授業内容	1. この分野のすべての物理量、概念、法則等を説明できる。 2. この分野の基本問題を理解し、解くことができる。 3. この分野の応用問題を理解し、解くことができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	古谷		
	テーマ	熱と温度、熱の移動、理想気体、熱力学の法則、熱機関		
	授業内容	1. 熱の基本的性質や熱現象を挙げ、説明できる。 2. 熱力学の第1法則及び第2法則について説明できる。 3. 熱機関及びその熱効率について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	古谷		
	テーマ	波の性質、波の重ね合わせの原理、定常波、音波、光波		
	授業内容	1. 波動の基本的性質について説明できる。 2. 音のドップラー効果について説明できる。 3. 光の干渉について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月24日(木)	時限	2限
	講義室	C203		
	担当者	古谷		
	テーマ	物理学の医学利用： 音波（超音波）、光波（赤外線）、電磁波（超短波・極超短波等）による温熱療法への医学利用の基礎		
	授業内容	1. 音（超音波）の性質及び医学応用分野を説明できる。 2. 光（赤外線等）の性質及び医学応用分野を説明できる。 3. 超音波、赤外線、超短波・極超短波（マイクロ波）等による温熱療法の原理を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
評価方法	1. 毎回行う予習・演習レポート及び宿題・演習問題等を評価する。また、レポート提出に対してコメントを返す。 2. 定期試験：力学・電磁気学・熱・波動及び熱・波動等の医学への応用分野に関する計算問題、記述問題等を出題する。不合格者には、再試験を行う。			
教科書	1. 『物理学入門』第3版、原康夫著、学術図書出版社、2015			
参考書	1. シップマン自然科学入門 新物理学、ジェームズ・T. シップマン著、学術図書出版社 2. 医歯薬系の物理学 からだと生命の基礎原理、林一他著、丸善出版			

連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 オフィスアワー：月曜日午後4時から午後5時半 上記時間帯の訪問が難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 授業終了時にも質問を受け付ける。 連絡先：furuya@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>予習：授業前日までに教科書の該当ページを予習すること。 復習：授業後、学習内容を見直すなど復習を行うこと。 深い学習：さらにWEBの参考書・参考文献等の検索を行い、学習内容を深めること。</p>

講義名	物理学実験		
(副題)	基礎分野 (科学的思考の基盤)		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	実験
基準単位数	1	時間	45.00
代表曜日	木曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 三島 智	医学部教員

担当教員	三島 智・勝浦 一雄・鈴木 正・古谷 峻介
科目の目標	物理現象とその法則を実験を通じて実証的に習得するとともに、物理機器の取り扱い、データ処理、レポート作成の能力を身に付ける。
学習の具体的な目標	<p>種々の実験を通じて、以下の態度および能力を修得することを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 実験の目的と原理を理解し、手順に従って実験を進めることができる。 2) 実験機器の原理と使用法を理解し、活用することができる。 3) 実験に臨む態度や注意点を身に付けることができる。 4) 実験で得られたデータを処理し、結論を導き出すことができる。 5) 実験の目的に即した適切な報告書を作成することができる。 6) 実験を通じて物理現象と関連する法則への理解を深め、応用することができる。 <p>実験テーマは以下の通り。この中から各自に指定されたテーマを毎回ローテーション形式で実施する。なお、以下のリストに含まれていないテーマについても、必要に応じて実施する場合がある。</p> <p><実験テーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・密度測定 ノギス、マイクロメーター、電子天秤を使って金属の密度を求めることができる。 ・ジャンプ 垂直飛びの際に床が受ける力を測定し、身体の運動を力学法則を用いて解析できる。 ・エネルギー変換 おもりの落下により作動する発電機を用いた実験に伴うエネルギー形態の変換について説明できる。 ・テスター テスターを使って種々の電気量を測定し、回路の理論を検証することができる。 ・波の反射と速さ ウェーブマシンを観察することにより、波の伝わり方を説明できる。 ・分光 分光計を用いた測定により、光の分光を説明できる。 ・光の屈折と反射 台形ガラスやレンズを用いた測定により、光の屈折や反射の法則を検証することができる。 ・音速 気柱の共鳴現象を用いて、音の伝搬速度を求めることができる。 ・レーザー レーザーの回折と干渉を観測して光の波動性を検証し、レーザーの波長を測定することができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	3限
	講義室	C302		

担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷			
テーマ	物理学実験1：ガイダンスと基礎実験			
授業内容	1. 物理学実験の目的と進め方。 2. データの処理と結論の導き方。 3. 報告書の作成と提出の方法。 4. ノギス、マイクロメーター、電子天秤を使用した金属の密度測定実験。 (予習時間20分、復習・レポート作成時間120分)			
2	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
3	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
4	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	物理学実験2		
	授業内容	2~4名のグループを編成し、「学習の具体的な目標」に挙げた実験テーマの中から指定された実験を行う。行う実験は毎回異なる。 (予習時間20分、復習・レポート作成時間120分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
7	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	物理学実験3		
	授業内容	"		
8	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		

10	年月日(曜日)	令和 7年12月11日(木)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	物理学実験4		
	授業内容	"		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月11日(木)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月11日(木)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月18日(木)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	物理学実験5		
	授業内容	"		
14	年月日(曜日)	令和 7年12月18日(木)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 7年12月18日(木)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
16	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	物理学実験6		
	授業内容	"		
17	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
18	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
19	年月日(曜日)	令和 8年01月15日(木)	時限	3限

講義室	C302			
担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷			
テーマ	物理学実験7			
授業内容	"			
20	年月日(曜日)	令和 8年01月15日(木)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
21	年月日(曜日)	令和 8年01月15日(木)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
22	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	まとめとレポートのフィードバック		
	授業内容	実験のまとめと提出レポートに対するフィードバックを行う。 (予習時間60分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	三島・勝浦・鈴木・古谷		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
評価方法	実験態度、レポートを総合的に判断して評価する。定期試験、再試験は行わない。			
教科書	毎回、実験テキストのプリントを配布する。また、実験日の前日までに実験テキストのファイルを WebClass で公開する。			
参考書	なし			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問などは、実験中または実験後に教室で受け付ける。 また、随時メールでも質問を受け付ける。 E-mail : 【三島】 mishima@saitama-med. ac. jp 【勝浦】 katsuura@saitama-med. ac. jp 【鈴木】 sei01@saitama-med. ac. jp 【古谷】 furuya@saitama-med. ac. jp			
履修上の注意、履修要件	初回実験日に、各回でどのテーマの実験を行うかを示す個人別実験テーマ割当表を配布する。 実験日までに実験テーマ割当表で実験テーマを確認し、WebClass で配布する実験テキストで実験の概要を把握しておくこと。 また、実験終了時に担当教員が実験結果をチェックするが、その際、データの測定法や原理について問われたときには答えられるように準備しておくこと。 実験レポートを提出する際には期日を守るよう注意すること。提出されたレポートに対して個別にコメントを返す。基準に満たないレポートは再提出になる。			

講義名	化学		
(副題)	基礎分野（科学的思考の基盤）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 村上 元	医学部教員

担当教員	村上 元
科目の目標	生体は様々な化学物質が結合することで構成されている。化学物質同士の結合の多くはその電子の状態から説明することが出来る。化学物質の電子状態から化学物質の結合様式を学び、それらを身のまわりの事象に当てはめて考えることで、日常で経験する様々な自然現象について納得のいく理解が得られることがこの科目の目標である。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 物質の構造について説明できる。 2) 物質の量について説明、計算ができる。 3) 物質の状態について説明できる。 4) 物質の変化について説明できる。 5) 有機化合物の構造と性質について説明できる。 6) 基本的な有機化学反応について説明できる。 7) 高分子化合物について説明できる。 8) 糖類と脂質について説明できる。 9) アミノ酸とタンパク質について説明できる。 10) 核酸について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月03日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	原子の構造と放射能		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生体の構成元素と原子について説明できる。 2. 原子の構造について説明できる。 3. 原子核と同位体について説明できる。 4. 放射能と放射線について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	原子の電子構造		

授業内容	1. 電子配置と周期表について説明できる。 2. イオン化エネルギー、電気陰性度、原子・イオンの大きさの周期性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年10月24日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	周期表と元素		
	授業内容	1. 電子殻について説明できる。 2. 軌道の形とエネルギーについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月24日(金)	時限	4限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	化学結合と分子		
	授業内容	1. イオン結合と金属結合について説明できる。 2. 共有結合と配位結合について説明できる。 3. 水素結合と分子間力について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	物質の量と状態 (1)		
	授業内容	1. 物質量(モル)について説明できる。 2. パーセント濃度、容量モル濃度、質量モル濃度について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月07日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	物質の量と状態 (2)		
	授業内容	1. 物質の三態について説明できる。 2. 気体の状態方程式を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	溶液の化学		
	授業内容	1. 固体や気体の溶解度について説明できる。 2. 沸点上昇、凝固点降下、浸透圧について説明できる。 3. コロイドの分類や性質について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月21日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	酸・塩基と酸化・還元 (1)		
	授業内容	1. 酸・塩基の定義、強弱、中和について説明できる。 2. pHの定義を説明でき、計算ができる。 3. 緩衝液と緩衝作用について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	酸・塩基と酸化・還元 (2)		
	授業内容			

1. 酸化・還元定義が説明できる。 2. 酸化・還元反応が説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
10	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	有機化合物の構造		
	授業内容	1. 単結合、不飽和結合について説明できる。 2. 炭化水素の種類について説明できる。 3. 置換基の種類について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	異性体と立体化学		
	授業内容	1. 異性体について説明できる。 2. 構造異性体について説明できる。 3. 立体異性体について説明できる。 4. 鏡像異性体について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	有機化学反応		
	授業内容	1. 有機化合物の酸化還元反応について説明できる。 2. 置換反応について説明できる。 3. 脱離反応と縮合について説明できる。 4. 付加反応について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	高分子化合物		
	授業内容	1. 高分子化合物の種類と構造について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月16日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	糖類と脂質		
	授業内容	1. 糖類と脂質の種類と構造について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月23日(金)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	村上		
	テーマ	核酸 (DNAとRNA)、アミノ酸とタンパク質		
	授業内容	1. 核酸 (DNAとRNA)について説明できる。 2. アミノ酸とタンパク質について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 授業の最後に行う小テストおよび試験期間中に行う定期試験の成績を総合的に判断し評価する。 2. 再試験の有無：有			
教科書	1. コ・メディカル化学-医療・看護系のための基礎化学-、齋藤勝裕他著、裳華房			
参考書	1. 生命科学のための基礎化学 (無機物理化学編)、M. M. Bloomfield著、伊藤俊洋他訳、丸善 2. プラディ 一般化学 (上)・(下)、J. E. Brady他著、若山信行他訳、東京化学同人			

連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後に教室にて相談を受け付ける。 また、随時、メールにて質問を受け付ける。 E-mail : murakami@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業後には学習内容の見直しを行い、学習内容を深めることを心掛けてください。

講義名	細胞生物学		
(副題)	基礎分野 (科学的思考の基盤)		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
医師	◎ 田邊 一郎	共通教育部門教員

担当教員	田邊 一郎・脇田 政嘉・時田幸之輔
科目の目標	人体は細胞から構成されている。細胞について学ぶことは、生命体としての自らを理解するというだけでなく、生きていく上で様々な選択を迫られる際に役立つ予備知識を手に入れることでもある。感染症、栄養摂取、生殖医療、薬効機序、遺伝子組換え食品、等について真に理解するため、細胞を舞台とした生物学の基礎を学ぶ。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 細胞内の分子の構造とその主な役割を説明できる。 2) DNAの複製や修復の仕組みを説明できる。 3) 転写、翻訳の仕組みを説明できる。 4) 様々な遺伝子工学の手法について説明できる。 5) 細胞小器官の名前とその主な機能を説明できる。 6) シグナル伝達について説明できる。 7) 細胞骨格タンパク質の構造と機能を説明できる。 8) 細胞周期について説明できる。 9) 減数分裂と受精について説明できる。 10) 様々な遺伝子変異の種類と、その遺伝形式を説明できる。 11) 体液性免疫と細胞性免疫の概略を説明できる。 12) 細胞外マトリックス、細胞間の結合様式について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	田邊		
	テーマ	細胞とは		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 細胞の構造と機能を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	脇田		
	テーマ	細胞内に含まれる物質		

授業内容	1. 細胞を構成している物質にはどのようなものがあるかを説明できる。 2. タンパク質・糖質・脂質の構造について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	3限
	講義室	川角203・101・102		
	担当者	時田		
	テーマ	細胞膜		
	授業内容	1. 細胞膜の構造について説明できる。 2. 細胞膜の機能について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	4限
	講義室	川角101・102		
	担当者	時田		
	テーマ	細胞小器官-1 小胞体とリボソーム		
	授業内容	1. 小胞体について説明できる。 2. リボソームについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	脇田		
	テーマ	代謝		
	授業内容	1. 糖質の消化・代謝の概略について説明できる。 2. タンパク質の消化・代謝の概略について説明できる。 3. 脂質の消化・代謝の概略について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	3限
	講義室	川角203・101・102		
	担当者	時田		
	テーマ	細胞小器官-2 ゴルジ体装置		
	授業内容	1. ゴルジ体装置の構造について説明できる。 2. ゴルジ体装置の機能について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	4限
	講義室	川角101・102		
	担当者	時田		
	テーマ	細胞小器官-3 サイトゾームとミトコンドリア		
	授業内容	1. サイトゾームの構造と機能について説明できる。 2. ミトコンドリアの構造と機能について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	3限
	講義室	川角203・101・102		
	担当者	時田		
	テーマ	細胞骨格		
	授業内容	1. 細胞骨格の構造について説明できる。 2. 細胞骨格の機能について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	4限
	講義室	川角101・102		
	担当者	時田		
	テーマ	脳と神経の細胞生物学		
	授業内容	1. 神経系の構成要素について説明できる。 2. シナプスと神経伝達について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

10	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	脇田		
	テーマ	核酸とセントラルドグマ		
	授業内容	1. 核酸の構造について説明できる。 2. 複製・転写・翻訳の過程について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	脇田		
	テーマ	シグナル伝達		
	授業内容	1. 細胞間シグナル伝達について説明できる。 2. 代表的な細胞内シグナル伝達経路について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	3限
	講義室	川角203・101・102		
	担当者	時田		
	テーマ	まとめ・演習		
	授業内容	1. これまでの講義で学んだ各内容を自分の言葉で説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	田邊		
	テーマ	細胞の構造と機能、組織と体液		
	授業内容	1. 細胞の構造と機能について説明できる。 2. 体内の水分バランスについて説明できる。 3. 浸透圧について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	田邊		
	テーマ	細胞と再生医療		
	授業内容	1. 幹細胞について説明できる。 2. 幹細胞を用いた再生医療について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	3限
	講義室	C306		
	担当者	田邊		
	テーマ	細胞と遺伝子治療		
	授業内容	1. 染色体について説明できる。 2. 染色体異常について説明できる。 3. 遺伝子治療について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	受講状況と定期試験の結果を総合的に判断して評価する。不合格者がいた場合は再試験を行う。 (時田担当分については、5月28日(水)3限に試験を行う。)
教科書	授業毎に、内容に沿った資料を配布する。 時田担当授業については以下の教科書を使用する 1. 標準組織学 総論 藤田尚男 藤田恒夫(著), 岩永敏彦(改訂) 医学書院 2. 生理学テキスト第9版 大地陸男(著) 文光堂
参考書	1. Essential細胞生物学 原著第5版, 南江堂 2. 基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 第4版, 和田勝著, 羊土社 3. クーパー 分子細胞生物学 第8版, 東京化学同人
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【田邊 一郎】

	<p>水曜日・5限 (16:30~18:00) E-mail: ichirota@saitama-med.ac.jp 【脇田 政嘉】 月曜日・火曜日 5限目 (16:30~18:00) E-mail: waki@saitama-med.ac.jp 【時田幸之輔】 月曜日 2限目 (10:40~12:10) E-mail: tokita@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験までに、各回の授業内容を復習してよく理解しておくこと。 2. 講義日程は脇田、田邊はすべて月曜日3限だが、時田は水曜日3・4限となっている。間違わないように出席すること。

講義名	情報科学演習		
(副題)	基礎分野（科学的思考の基盤）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	3限
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 是村 利幸	共通教育部門教員

担当教員	是村 利幸・水谷 諭史・國澤 洋介・三浦 佳代・百留 悦子
科目の目標	情報を効果的に取捨できるように、コンピュータの一般的なソフトを用いて修得する。コンピュータを用いて自分の考えを他者に伝達する力を養う。また、情報に関する知識およびコンピュータシステム、ネットワークについての知識を併せて学修する。なお、本科目の一部は、全学共通データサイエンスAI学修プログラムになっている。全学共通データサイエンスAI学修プログラムは、データサイエンス・AI・数理への関心を高め、かつそれを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成することを目的としている。
学習の具体的な目標	<p><基礎知識></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 情報の基本的な性質を説明できる。 2) コンピュータシステムの構成とその役割を説明できる。 3) ネットワークの基本的な利用法を説明できる。 4) 情報の安全管理の基本的な考え方を説明できる。 <p><基礎技術></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) OSの基本的な操作ができる。 2) 文書作成ソフトの基本的な操作ができる。 3) 表計算ソフトの基本的な操作ができる。 4) プレゼンテーション資料を作成できる。 5) 適切な情報を収集できる。 <p><全学共通データサイエンスAI学修プログラム></p> <p>データサイエンス・AI・数理を医療の現場で利活用するために必要な基礎的な素養を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療におけるデータサイエンス・AIの必要性を説明できる。 2) AI等を扱う際に、人間中心の適切な判断を行うための倫理等について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	オリエンテーション/データサイエンスの役割		
	授業内容			

1. PC教室のコンピュータや周辺機器を正しく使うことができる。
 2. 現代社会とデータサイエンスの結びつきを説明できる。
 3. データの種類や性質について説明できる。
 4. データサイエンスの実例を示すことができる。
 5. 医学におけるデータサイエンスの必要性を説明できる。
- 準備：自分の身の回りで、AIが使われていると思われるものを3つ程度あげられるように考えておく。
(予習時間30分、復習時間60分)

2	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	4限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	パソコンの基本操作/Microsoft office®の基本操作		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. WindowsOSの基本的な操作ができる。 2. キーボードとマウスを操作することができる。 3. 日本語変換システムを操作することができる。 4. OSとアプリケーションソフトの役割を述べるすることができる。 5. 文書作成ソフトの基本操作ができる。 6. 表計算ソフトの基本操作ができる。 7. プレゼンテーション作成ソフトの基本操作ができる。 8. メールを正しく送ることができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	コンピュータの仕組み		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータシステムの仕組みと働きを説明できる。 2. 電子計算機について説明できる。 3. ハードウェアについて説明できる。 4. ソフトウェアについて説明できる。 5. プログラムの実行形式について説明できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	4限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	ネットワークの仕組み		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワークの構成について説明できる。 2. 通信プロトコルについて説明できる。 3. ネットワークセキュリティについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	文書処理1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 読みやすい文書を作成できる。 2. 効率良く文書を作成できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	4限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	文書処理2		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 表や図を使って文書を作成できる。 2. 文書にオブジェクトを利用した多彩な文章を作ることができる。 3. 特殊な機能を使うことができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	表計算処理 1		
	授業内容			

1. 数式を使った計算ができる。
2. 関数を使って計算ができる。
3. 作表することができる。
4. 見やすく使いやすい表を作成できる。

(予習時間30分、復習時間60分)

8	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	4限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	表計算処理2/統計・データ処理		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワークシートでグラフを作成できる。 2. データを指定された表現方法に加工できる。 3. Excelの機能を活用して、効率よく作業を進めることができる。 4. 統計とは何か説明できる。 5. 統計の種類について説明できる。 6. ワークシート上で統計計算ができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	プレゼンテーション1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンテーション資料作成の要点を述べるができる。 2. 簡単なプレゼンテーション資料を作成することができる。 3. 文書資料とプレゼンテーション資料の相違を述べるができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	4限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	プレゼンテーション2/プロダクト作成		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一つのテーマについて、わかりやすいプレゼンテーション資料を作成できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	ネットリテラシー/データサイエンスと情報倫理		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネットリテラシーとは何か説明できる。 2. ネットリテラシーについて事例を挙げ、自分の考えを述べるができる。 3. 個人情報保護・情報の秘匿・暗号について説明できる。 4. データの利活用に関するルールを守ることができる。 5. 情報漏洩の危険性を説明できる。 6. 情報を適切に管理する方法を説明できる。 7. インターネットを利用する際のマナーを説明できる。 準備：インターネットを使う時の注意点を3つ程度挙げられるように考えておく。 (予習時間30分、復習時間60分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	4限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦・百留		
	テーマ	文献検索		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. PC教室で種々の情報源から得られる資料を適切に選り出すことができる。 2. テーマに合わせて資料を適切に組み合わせることができる。 3. 得られた文献情報の内容をまとめることができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	プレゼンテーション3/他己評価		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほかの学生のプレゼンテーション資料を適切に評価できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		

14	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	4限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	まとめ課題		
	授業内容	1. これまで学修してきたソフト (Word、Excel、PowerPoint) を用いて課題を処理できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	是村・水谷・國澤・三浦		
	テーマ	プレゼンテーション4 / 発表		
	授業内容	1. プレゼンテーション資料を用いて自分の考えを発表できる。 2. 発表内容をもとに学生同士で意見交換ができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
評価方法	以下を総合的に判断して評価する。 1. 演習課題 2. 学習態度 (演習に取り組む姿勢や課題の提出状況など) 3. 再試験 : 有			
教科書	基礎からわかる情報リテラシー、 奥村晴彦・森本尚之 著 技術評論社			
参考書	1. 情報リテラシー入門、中川祐治ほか 日経BP 2. 看護・医療系のための情報科学入門、椎橋実智男・鈴木康文 著 サイオ出版 3. 教養としてのデータサイエンス、内田誠一・川崎能典ほか 講談社			
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 下記の時間帯に訪問することが難しい場合には、メールにて事前にアポイントメントをとること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 是村 利幸 火曜・金曜の昼休み (12:00-13:00) E-mail : kore@saitama-med. ac. jp ○ 水谷 諭史 金曜の昼休み (12:00-13:00) E-mail : mizutani@saitama-med. ac. jp ○ 國澤 洋介 水曜の昼休み (12:10-13:10) E-mail : kunisawa@saitama-med. ac. jp ○ 三浦 佳代 火曜・水曜の昼休み (12:00-13:00) E-mail : k_miura@saitama-med. ac. jp 			
履修上の注意、履修要件	<p>知識の学習と情報処理技術を体得する授業です。コンピュータ操作を身につけるには、授業時間外の練習も必要です。授業内容を理解する上での予習と授業によって身に付けた技術を忘れないためにも、授業終了後も継続してコンピュータを使うように心掛けてください。</p> <p>この科目では、教室のコンピュータを使用できますが、授業時間外の課題もありますので、使い慣れている自分のコンピュータを持っている場合には、持参するようにしてください。</p>			

講義名	教育基礎セミナー		
(副題)	基礎分野（科学的思考の基盤）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	2限
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 高倉 保幸	理学療法学科教員

担当教員	高倉 保幸・清水 夏生
科目の目標	大学生の初年教育の一環として、科学的思考の基盤を作るための大学生としてふさわしい学修方法を教育学の視点から学ぶ。なお、本授業はワークショップ形式とする。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の3原則を説明できる 2. 学習目標のあり方と利用の仕方を説明できる 3. 学修方略の種類と特徴について説明できる 4. 評価法の種類と特徴について説明できる

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	準備・教育原理		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワークショップの進め方を説明できる 2. 教育原理を説明できる (予習時間30分、復習時間30分) 		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	コミュニケーション		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の考えを効果的に説明できる 2. 正確な論述に必要な要件を説明できる (予習時間30分、復習時間30分) 		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	教育目標		

授業内容	1. 教育目標（狙い）の定義を説明できる 2. 学習プロセスの全体像を説明できる 3. 教育目標（狙い）の例をあげることができる (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	教育目標		
	授業内容	1. 具体的な教育目標の要点を説明できる 2. 具体的な教育目標の例をあげることができる (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	教育目標		
	授業内容	1. 教育目標（狙い）と具体的な目標の違いを説明できる 2. 模擬症例の教育目標（狙い）と具体的な目標をあげることができる (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	教育方略		
	授業内容	1. 教育方略の種類をあげることができる 2. 各種教育方略の特徴を説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	教育方略		
	授業内容	1. 目標に応じた教育方略立案の要点を説明できる 2. 模擬症例の教育方略を立案できる (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	教育評価		
	授業内容	1. 教育評価の種類をあげることができる 2. 各種教育評価の特徴を説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	教育評価		
	授業内容	1. 評価に基づくフィードバックを模擬症例に実践できる 2. コーチングの概要を説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	コーチング		
	授業内容	1. 模擬症例にコーチングを実践できる (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	2限

講義室	運動療法実習室2			
担当者	高倉・清水			
テーマ	コーチング			
授業内容	1. 模擬症例にコーチングを実践できる (予習時間30分、復習時間30分)			
12	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	学習支援ツール		
	授業内容	1. 学習支援ツールとしての生成AIの基礎知識を説明できる 2. 生成AIを用いる際の注意点を述べる事が出来る (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	学習支援ツール		
	授業内容	1. 学習支援ツールとしての生成AIの基礎知識を説明できる 2. 生成AIを用いる際の注意点を述べる事が出来る (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	目標と方略		
	授業内容	1. 学習目標と方略について複数の視点で議論することが出来る (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 授業全体を通して得た知識を整理することが出来る 2. 授業で体得したことをどの様に活かすか説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	課題毎に設定した課題と確認テスト、授業態度から総合的に評価する。			
教科書	必要資料を適宜配付する			
参考書	特になし			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【高倉保幸】 金曜日12:00-13:00 それ以外の時間で面談・相談を希望する者はEメールでアポイントメントをとること Eメールアドレス: takakura@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	授業前には配布資料の該当部分を予習しておくこと。また、授業後には各コマの目標に合わせた復習を怠らないこと。			

講義名	英語 I		
(副題)	基礎分野 (人間と生活)		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 間山 伸	共通教育部門教員

担当教員	間山 伸・ジリオ ダビデ・尼子 充久
科目の目標	国際語としての英語を運用するための基礎的な力を養うことを科目の目標とする。基本的な文法を整理、確認しつつ、使用頻度の高い基本的な英語表現の習得を目指す。基本文法・表現を活用して、基礎的なリスニング、リーディング、ライティング、スピーキング技能の充実を図る。 また、体の部位、臓器など基礎的な医療用語の学習や、医療現場で想定される医療従事者と患者さんとの英会話練習を行う。
学習の具体的な目標	1) 基本的な英語語彙を覚えて、正しく運用できる。 2) 英文を読み、全体の内容を説明できる。 3) 日常的な場面で用いられる様々な英語を聞き取ることができる。その内容を日本語で説明できる。 4) ある程度の長さの英文を正確に読むことができる。 5) 状況に応じた、英語での受け答えができる。 6) 医療関係の現場で用いられる基礎的な英語の綴りを正しく綴ることができる。また、意味を日本語で答えられる。 授業形態：プレゼンテーション、発表、グループワーク

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	授業ガイダンス、既習の英語学習内容の確認 会話 Unit 1 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 1 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	授業のグループ分け、及び各グループのクラススケジュールについての説明 既習の英語文法・発音の復習を通して、基本的な英語を読む、書く、聞く、発話することができる Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		

担当者	間山・尼子・ジリオ			
テーマ	会話 Unit 1 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 1 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)			
授業内容	既習の英語文法・発音の復習を通して、基本的な英語を読む、書く、聞く、発話することができる Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 2 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 2 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 2 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 2 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 3 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 3 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 3 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 3 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 4 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 4 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		

	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 4 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 4 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 5 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 5 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 5 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 5 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 6 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 6 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 6 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 6 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	1限

講義室	C405・C406			
担当者	間山・尼子・ジリオ			
テーマ	会話 Unit 7 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 7 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)			
授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
14	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 7 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 7 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	前期授業のまとめ		
	授業内容	会話 Unit 1～Unit 7のKey Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Powerの振り返り 読解 Lesson 1～Lesson 7のDialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Readingの振り返り 1～14回目の授業で扱ったKey Expressions、Vocabulary、Useful Expressions内で学修した英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。Communication Strategyに基づいて、学修した表現を用いて英語での会話ができる。Dialogue、Readingで学修した内容を日本語で分かりやすく説明できる。Substitution Practiceで学修した英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験内での筆記試験(60%) 2. 授業への出席状況、授業内の練習状況(20%) 3. 授業内の小テスト、発表などの課題(課題の内容に応じて添削や採点を行ったうえで返却する)(20%) 4. 再試験の有無: 無			
教科書	1. 『English For Nurses (Revised edition)』山中マーガレット: 朝日出版社(2021年)<会話クラス用> 2. 『Care to Communicate, Communicate to Care』宮原哲、川内規会: 松柏社(2024年)<読解クラス用>			
参考書	1. 倉林 秀男 『バッチリ身につく 英語の学び方(ちくまプリマー新書390)』(筑摩書房 2021) 2. 今井 むつみ 『英語独習法(岩波新書 新赤版 1860)』(岩波新書 2020) 3. 里中 哲彦 『日本人のための英語学習法(ちくま新書)』(ちくま書房 2019) 4. 井上 逸兵 『英語の思考法——話すための文法・文化レッスン(ちくま新書)』(筑摩書房 2021)			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【間山】 オフィスアワー: 月曜日12:10-13:10 上記時間帯での訪問が難しい場合は、Eメールでアポイントメントを取ることに。 Eメール: mayama01@saitama-med.ac.jp(間山) mitsuhisa3213@hotmail.com(尼子) shirakamu@yahoo.co.jp(ジリオ)			
履修上の注意、履修要件	予習については、教材をよく読んで、分からない箇所をまとめておく。復習については、間違えた箇所をもう一度自分で確認・整理して、それでも理解できない箇所は次の授業で質問できるようにまとめておくこと。			

講義名	英語Ⅱ		
(副題)	基礎分野（人間と生活）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 間山 伸	共通教育部門教員

担当教員	間山 伸・ジリオ ダビデ・尼子 充久
科目の目標	英語Ⅰで学習した基礎的な英語力をよりいっそう充実させ、さらに応用的な英語学習を進めて、英語の言語知識と運用能力を発展・向上させる。教科書を用いて語彙の増強、英文読解力および英作文能力の強化を図る。教科書だけではなく、適宜、補助的な教材を用いて医療現場、医療に関連した分野で用いられる英語語彙、表現の習得も目指す。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 英文を日本語に正しく訳すことができる。 2) 文章全体の意味を日本語で分かりやすく説明できる。 3) 英文を聞いて、その内容を日本語で説明できる。 4) 聞き取った英文を文字で表記できる。あるいは概要や要点を英語で書くことができる。 5) 様々な英語語彙、表現を正しく運用（書く、話すことが）できる。 6) 医療の現場および関連した状況で用いられる英語語彙、表現を運用（書く、話すことが）できる。 授業形態：プレゼンテーション、発表、グループワーク

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	後期授業ガイダンス 会話 Unit 8 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 8 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	授業のグループ分け、及び各グループのクラススケジュールについての説明 Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		

テーマ	会話 Unit 8 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 8 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)			
授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 9 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 9 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 9 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 9 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月03日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 10 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 10 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月08日(土)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 10 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 10 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山 尼子 ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 11 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 11 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容			

Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。
 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。
 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。
 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。
 (予習時間30分、復習時間30分)

8	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 11 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 11 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 12 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 12 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 12 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 12 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 13 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 13 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 13 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 13 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月05日(月)	時限	1限

講義室	C405・C406			
担当者	間山・尼子・ジリオ			
テーマ	会話 Unit 14 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 14 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)			
授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
14	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 14 Key Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Power 読解 Lesson 14 Dialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Reading (Aクラス・Bクラス)		
	授業内容	Key Expressions、Vocabulary、Useful Expressionsの英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。 Communication Strategyの表現を用いて英語での会話ができる。 Dialogue、Readingの内容を日本語で分かりやすく説明できる。 Substitution Practiceの英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	1限
	講義室	C405・C406		
	担当者	間山・尼子・ジリオ		
	テーマ	会話 Unit 8~Unit 14のKey Expressions、Vocabulary、Communication Strategy、Word Powerの振り返り 読解 Lesson 8~Lesson 14のDialogue、Useful Expressions、Substitution Practice、Readingの振り返り		
	授業内容	1~14回目の授業で扱ったKey Expressions、Vocabulary、Useful Expressions内で学修した英語を聞き取って意味を日本語で説明できる。Communication Strategyに基づいて、学修した表現を用いて英語での会話ができる。Dialogue、Readingで学修した内容を日本語で分かりやすく説明できる。Substitution Practiceで学修した英語を用いて英作文ができる。また英語でのコミュニケーションができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験内での筆記試験(60%) 2. 授業への出席状況、授業内の練習状況(20%) 3. 授業内の小テスト、発表などの課題(課題の内容に応じて添削や採点を行ったうえで返却する)(20%) 4. 再試験の有無: 無			
教科書	1. 『English For Nurses (Revised edition)』山中マーガレット: 朝日出版社(2021年)<会話クラス用> 2. 『Care to Communicate, Communicate to Care』宮原哲、川内規会: 松柏社(2024年)<読解クラス用>			
参考書	1. 倉林 秀男 『バッチリ身につく 英語の学び方(ちくまプリマー新書390)』(筑摩書房 2021) 2. 今井 むつみ 『英語独習法(岩波新書 新赤版 1860)』(岩波新書 2020) 3. 里中 哲彦 『日本人のための英語学習法(ちくま新書)』(ちくま書房 2019) 4. 井上 逸兵 『英語の思考法——話すための文法・文化レッスン(ちくま新書)』(筑摩書房 2021)			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【間山】 オフィスアワー: 月曜日12:10-13:10 上記時間帯での訪問が難しい場合は、Eメールでアポイントメントを取ること。 Eメール: mayama01@saitama-med.ac.jp mitsuhisa3213@hotmail.com(尼子) shirakamu@yahoo.co.jp(ジリオ)			
履修上の注意、履修要件	予習については、教材をよく読んで、分からない箇所をまとめておく。復習については、学習した内容をもう一度自分で確認・整理して、理解できない箇所は次の授業で質問できるようにまとめておくこと。			

講義名	ドイツ語		
(副題)	基礎分野（人間と生活）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ Markus Alexander Heinrich Freiherr von Freyberg	非常勤教員（大学外部）

担当教員	マルクス・フォン・フライベルク
科目の目標	この授業では、ドイツ語の基礎文法と旅行中に使える簡単な会話のバリエーションを学びながら、EU圏の牽引役とも言えるドイツの言語と文化についての理解を深めていきます。 ドイツ語圏に生活する人々の日常についての知識も語学を学びながら修得できます。
学習の具体的な目標	①ドイツ語で簡単な日常会話を行える。 ②ドイツ語の平易な文章が読めるようになる。 ③ドイツ語圏の文化の特徴を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月03日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	ドイツ語圏の重要都市を地図で紹介 ドイツ語のアルファベットと発音		
	授業内容	・ドイツ語のアルファベットを発音できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月10日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	ドイツ語での挨拶と自己紹介		
	授業内容	・注意すべき母音の綴りを正しく発音できる。 ・注意すべき子音の綴りを正しく発音できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	食事・買い物 1		

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・注意すべき母音の綴りを正しく発音できる。 ・注意すべき子音の綴りを正しく発音できる。 ・ドイツ語で一人で買い物ができるようになる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月24日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	食事・買い物2		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・注意すべき母音の綴りを正しく発音できる。 ・注意すべき子音の綴りを正しく発音できる。 ・ドイツ語で一人で買い物ができるようになる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	レストランにて		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語で一人でレストランでの注文と支払いができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月07日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	町中で1		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現地で一人で街を歩くことができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	町中で2		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現地で一人で街を歩くことができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月21日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	職業1		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職業をドイツ語で説明できるようになる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	職業2		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職業についてドイツ語で質問することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	衣服		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語で衣服について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	マルクス		

テーマ	色			
授業内容	・ドイツ語で色について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
12	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	1限
	講義室	G207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	身体		
	授業内容	・ドイツ語で体の各部分について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	1限
	講義室	G207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	健康		
	授業内容	・ドイツ語で健康状態について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月16日(金)	時限	1限
	講義室	G207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	病気		
	授業内容	・ドイツ語で具合の悪い部分や症状について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月23日(金)	時限	1限
	講義室	G207		
	担当者	マルクス		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	・この授業で学んだすべてのテーマを復習する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	授業への貢献度(50%)、最終授業時に出す課題のテスト(50%)で総合的に評価します。			
教科書	授業毎に、内容に沿った資料を配布する予定です。			
参考書	アクセス独和辞典(三修社) アポロン独和辞典(同学社) クラウン独和辞典(三省堂) キャンパス独和辞典(同学社)			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業および課題等に対する質問や相談などは、授業前後に教室にて受け付けます。			
履修上の注意、履修要件	この授業では各回の復習が重要になります。 この演習は主に語学力を培うための授業ですが、言語は諸外国の文化に触れるための重要なツールであることを意識してもらえればと思います。ドイツに限らず、諸外国の文化や生活・風土に興味関心のある学生の受講を期待しています。 また、演習形式の授業ということもありますので、疑問・質問などについて積極的な発言を期待しています。			

講義名	社会学		
(副題)	基礎分野（人間と生活）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 土居 浩	非常勤教員（大学外部）

担当教員	土居 浩
科目の目標	人間について社会科学の側面から考えるために、文化人類学テキストを教科書として指定し、講読します。身体観、死生観、宗教、世界観など、人間を理解するうえで欠かせない「文化」をさまざまな切り口で紹介することで、これまでの概念にとらわれない新たな視界をひらきます。
学習の具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・一般に使われる「文化」と異なる、文化人類学でいう「文化」の違いを説明できる。 ・文化人類学の質的研究における位置づけと方法論（エスノグラフィ）について概説できる。 ・文化人類学からみた親子関係をはじめとする人間関係について、一般常識的な観点との違いを説明できる。 ・「人生儀礼」をはじめとする儀礼が持つ機能と構造について概説できる。 ・文化人類学からみた「宗教」や「信仰」について、一般常識的な観点との違いを説明できる。 ・「医療人類学」分野の概要を踏まえて、グローバルな健康課題について意見を表明できる。 ・「いのち/生命」が最も発現していると考えるのは、自分の場合はどのようなとき・状況であり、また、ほかの人のいのち/生命が最も発現していると考えるのはどのようなとき・状況かについて、具体的に説明することができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	この科目「社会学」で文化人類学を扱う意味 社会学と文化人類学との関係		
	授業内容	高校までとは異なる、大学での基本的な学ぶ姿勢を試行できる。 次回以降のこの科目を、滞りなく受講することができる。 (予習復習あわせて3時間)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	人間と文化（前半）		
	授業内容			

- ・一般に使われている「文化」と文化人類学でいう「文化」の意味の違いについて、整理して説明することができる。
 - ・「自文化中心主義」（エスノセントリズムといわれることもある）がもたらす弊害の具体的事例について、レポートすることができる。
 - ・自分が生まれて育つ中で習得した自文化を「相対化する」ということを、具体的な状況を想定して試行することができる。
 - ・現在も私たちの生活の中で語られる「文化進化論」的なものをさがしてレポートすることができる。
 - ・世界の人々の暮らしや言語や習慣について、自分がどのくらい知っているか、人々を示す名称（民族名など）とともにあげることができる。
- （予習復習あわせて3時間）

3	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	人間と文化（後半）		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般に使われている「文化」と文化人類学でいう「文化」の意味の違いについて、整理して説明することができる。 ・「自文化中心主義」（エスノセントリズムといわれることもある）がもたらす弊害の具体的事例について、レポートすることができる。 ・自分が生まれて育つ中で習得した自文化を「相対化する」ということを、具体的な状況を想定して試行することができる。 ・現在も私たちの生活の中で語られる「文化進化論」的なものをさがしてレポートすることができる。 ・世界の人々の暮らしや言語や習慣について、自分がどのくらい知っているか、人々を示す名称（民族名など）とともにあげることができる。 <p>（予習復習あわせて3時間）</p>		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	質的研究とエスノグラフィー（前半）		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・質的思考がどのようなものかをまず理解し、それが私たちの日常生活でどのような役割を果たしているか、説明することができる。 ・質的研究とはなにか、そしてその独自性と意義はどのようなものかを把握し、説明することができる。 ・エスノグラフィーの起源と定義を理解し、それが質的研究の中でもつ独自の特徴を説明することができる。 ・文化人類学とエスノグラフィーとの関係を把握し、説明することができる。 ・質的研究に対する文化人類学の独自の意義について、列挙することができる。 ・エスノグラフィーの多様性が説明できる。 ・エスノグラフィーの現代的意義を示す具体的な応用例を調べ、レポートすることができる。 ・自分ならエスノグラフィーを使ってなにを明らかにしたいかを考え、試行できる。 <p>（予習復習あわせて3時間）</p>		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	質的研究とエスノグラフィー（後半）		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・質的思考がどのようなものかをまず理解し、それが私たちの日常生活でどのような役割を果たしているか、説明することができる。 ・質的研究とはなにか、そしてその独自性と意義はどのようなものかを把握し、説明することができる。 ・エスノグラフィーの起源と定義を理解し、それが質的研究の中でもつ独自の特徴を説明することができる。 ・文化人類学とエスノグラフィーとの関係を把握し、説明することができる。 ・質的研究に対する文化人類学の独自の意義について、列挙することができる。 ・エスノグラフィーの多様性が説明できる。 ・エスノグラフィーの現代的意義を示す具体的な応用例を調べ、レポートすることができる。 ・自分ならエスノグラフィーを使ってなにを明らかにしたいかを考え、試行できる。 <p>（予習復習あわせて3時間）</p>		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	個人・家族・家族をこえたつながり（前半）		
	授業内容			

・「私は〇〇です」という文を10つ作り、自分のアイデンティティについて考え、レポートすることができる。

・日本では生殖補助医療技術に関してどのような法律があるか調べ、外国とどのような違いを調べ、なぜ違うのか、考えてレポートすることができる。

・親は子に対してどのような権利・義務をもっているか、子は親に対してどのような権利・義務をもっているか、考えて意見を表明することができる。

・現在の日本で、ある人とある人が「結婚している」というには、どのような条件を満たしている必要があるか考えて、意見を表明することができる。

(予習復習あわせて3時間)

7	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	個人・家族・家族をこえたつながり(後半)		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のさまざまな家族の形態を調べ、家族と世帯の違いについて具体的な例をあげて、説明することができる。 ・自分が親族だと思ふ人々をすべて書き出し、自分とどのような関係にあるか考え、それぞれ一番最近会ったのはいつ・どのような場だったか、一番最近連絡をとったのはいつ・なんのためだったか、思い出してレポートすることができる。 ・自分が所属しているコミュニティについて、その規模がどのくらいか、境界はなにか、成員が対面する機会がどのくらいあるか。考えてレポートすることができる。 ・自分が参加しているボランティア・アソシエーションについて、参加するようになったきっかけ、活動目的、活動内容、自分の参加の度合いなどについて考え、整理してレポートすることができる。 ・自分が国家によってまもられていると感じるのはどのようなときか、また国家によって管理されていると感じるのはどのようなときか、考えを整理し、レポートすることができる。 <p>(予習復習あわせて3時間)</p>		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	人生と通過儀礼(前半)		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの社会で行われているさまざまな儀礼に積極的に参加して観察し、レポートすることができる。 ・アーノルド・ファン ヘネップの通過儀礼の定義を理解し、説明することができる。 ・身近な儀礼から、分離・過渡・統合の3つの局面を取り出し、説明することができる。 ・エドモンド・リーチの境界理論を理解し、説明することができる。 ・私たちの社会で、タブー・危険・けがれと結びつけられるものがリーチの境界理論によって説明できるかどうか、レポートすることができる。 ・モラトリアムの意味を理解し、説明することができる。 <p>(予習復習あわせて3時間)</p>		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	人生と通過儀礼(後半)		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの社会で行われているさまざまな儀礼に積極的に参加して観察し、レポートすることができる。 ・アーノルド・ファン ヘネップの通過儀礼の定義を理解し、説明することができる。 ・身近な儀礼から、分離・過渡・統合の3つの局面を取り出し、説明することができる。 ・エドモンド・リーチの境界理論を理解し、説明することができる。 ・私たちの社会で、タブー・危険・けがれと結びつけられるものがリーチの境界理論によって説明できるかどうか、レポートすることができる。 ・モラトリアムの意味を理解し、説明することができる。 <p>(予習復習あわせて3時間)</p>		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	宗教と世界観(前半)		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化人類学における「宗教」と「世界観」について、自分の言葉で説明することができる。 ・自分が居住する地域の祭りや儀礼を調べ、そこからどのような世界観が読みとれるか、レポートすることができる。 ・沖縄のユタのほか、日本にはどのようなシャーマンとみなされる人がいるかを調べ、現代の日本社会においてシャーマンが果たす役割について、意見を表明することができる。 <p>(予習復習あわせて3時間)</p>		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	3限
	講義室	C208		

担当者	土居			
テーマ	宗教と世界観（後半）			
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の葬送儀礼（葬式）を、通過儀礼の視点から分離・過渡・統合の3つの局面に分類し、死者が徐々にあの世に近づく過程が、儀礼のどの部分にあらわされているか、生と死をめぐる日本人の世界観（死生観）について、意見を表明することができる ・みずからの世界観が揺らいだ経験をふり返り、なにが契機となったか、現時点でその経験をどのように解釈するか、意見を表明することができる。 （予習復習あわせて3時間）			
12	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	健康と医療（前半）		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活環境にある健康リスクと、それに対処するために自分がもっている資源（文化・社会・医療など）について、レポートすることができる。 ・自分や家族が病気になったときとった行動を列挙し、そこにどのような医療の観念と制度の体系がみえるか、レポートすることができる。 ・自分や身近な人が病気になった経験をナラティブにまとめ、その語りにある「説明モデル」を説明することができる。 ・自分の人生において、病気や治療の経験がどのような影響を与えてきたか、ふり返りレポートすることができる。 ・グローバルな視点で考えなければならない健康課題について例をあげて、意見を表明することができる。 （予習復習あわせて3時間）		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	健康と医療（後半）		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活環境にある健康リスクと、それに対処するために自分がもっている資源（文化・社会・医療など）について、レポートすることができる。 ・自分や家族が病気になったときとった行動を列挙し、そこにどのような医療の観念と制度の体系がみえるか、レポートすることができる。 ・自分や身近な人が病気になった経験をナラティブにまとめ、その語りにある「説明モデル」を説明することができる。 ・自分の人生において、病気や治療の経験がどのような影響を与えてきたか、ふり返りレポートすることができる。 ・グローバルな視点で考えなければならない健康課題について例をあげて、意見を表明することができる。 （予習復習あわせて3時間）		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	いのちと文化（前半）		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ごととして、加齢に伴って身体機能や認知機能が衰えた人の「人格」が変化すると考えるなら、その理由を考えてレポートすることができる。 ・自分ごととして、自分が大きな病気やけがのせいで身体の自由がきかなくなり、意思を周囲に伝えられなくなって「尊厳死」を望むとすれば、その理由を考えてレポートすることができる。 ・「いのち/生命」が最も発現していると考えるのは、自分の場合はどのようなとき・状況であり、また、ほかの人のいのち/生命が最も発現していると考えるのはどのようなとき・状況かについて、具体的に説明することができる。 （予習復習あわせて3時間）		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月24日(木)	時限	3限
	講義室	C208		
	担当者	土居		
	テーマ	いのちと文化（後半）		
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ごととして、加齢に伴って身体機能や認知機能が衰えた人の「人格」が変化すると考えるなら、その理由を考えてレポートすることができる。 ・自分ごととして、自分が大きな病気やけがのせいで身体の自由がきかなくなり、意思を周囲に伝えられなくなって「尊厳死」を望むとすれば、その理由を考えてレポートすることができる。 ・「いのち/生命」が最も発現していると考えるのは、自分の場合はどのようなとき・状況であり、また、ほかの人のいのち/生命が最も発現していると考えるのはどのようなとき・状況かについて、具体的に説明することができる。 （予習復習あわせて3時間）		

評価方法	各回の講義中に実施するクイズへの取り組みを積算して評価とします。評価の前提として、受講態度を含めて評価対象とするかどうかを判断します。
教科書	波平恵美子編 2021『文化人類学〔カレッジ版〕第4版』医学書院
参考書	学習方法についての参考書：読書猿 2020『独学大全』ダイヤモンド社 科目内容についての参考書：波平恵美子 2023『病気と治療の文化人類学』筑摩書房（ちくま学芸文庫） 指定教科書でも「推薦図書」が紹介されていますので、参考にしてください。
連絡先/オフィスアワー	科目担当者は非常勤講師なので、この科目が開講される時間帯前後のみ、大学に滞在しています。学習相談等がありましたら、講義終了後に教室で科目担当者に声をかけてください。
履修上の注意、履修要件	基本的に受講生は、日本において成人とみなされると認識していますので、大人としてのふるまいを大前提として対応いたします。 スマホやノートPCなどを活用する予定ですので、充電・インターネット接続等々を含めたデバイスの管理は、受講生の責任で準備した上で、受講してください。科目担当者にデバイスの不具合を訴えられても、対応できません。

講義名	哲学		
(副題)	基礎分野（人間と生活）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	月曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ GIGLIO Emanuele Davide	非常勤教員（大学外部）

担当教員	ジリオ、インマヌエル・ダビデ
科目の目標	<p>医療の世界でも「哲学的な知識は専門的な知識と同じように大事で不可欠である」という意識が高まりつつある（医学書院の公式HP『医学界新聞』より：対談「医療と哲学の交差点で対話を育む」、行岡 哲男氏（東京医科大学名誉教授）等）。</p> <p>本講義では、古代から現代にいたる哲学者たちの思想に触れることで、次のような内容について受講生と共に考えていく：</p> <p>○「哲学（すべての分野にその基本概念と方法論を提供してくれる最も基礎的な営み、すべての学問を基礎づける特別な学問、すべてのサイエンスを繋げ統一できる特別なサイエンスとしての哲学）」、○「感覚（＝万物の変化と多様性を捉える能力、「パーツ」を個別に扱う能力）」と「理性（＝論理的思考を用いて不変の真実を捉える能力、全体的なものを捉える能力としての理性）」、○「感性（＝感覚器官を通して環境からの刺激を外部データとして集め整理する能力）」と「知性（＝外部データを様々な概念に統一し「手段」または「道具」として理解する能力）」、○「存在（今あるモノと、そこから可能になっていく物事の総体）」という謎、○「認識（目に見えるモノと目に見えないモノの認識を可能にしてくれる先験的な要素）」という謎、「言語（＝思考を可能にしてくれるもの）」という謎、「歴史（＝世界と人間存在の真実が明らかになっていく道のりとしての歴史）」など。</p>
学習の具体的な目標	<p>1) 「哲学」、「感覚」と「理性」、「感性」と「知性」、「存在」の謎、「認識」の謎、「言語」の謎、「歴史」など（＝人間の最も基本的な知識）について自分の言葉で説明できる。</p> <p>2) 「哲学をする」という営みに関する基礎知識を習得する。</p> <p>3) 批判精神（＝自分の様々な考え方の根拠・妥当性の範囲・リミットをチェックする能力）、自由思考（＝自分の時代と文化の様々な制約と影響を超えたところで考える能力）、問題解決能力などを身につけ、思想の多様性を理解する。</p>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	哲学とは何か？哲学の誕生；ソクラテス以前の思想家たち；一元論的自然観；ミレトス学派、ピュタゴラス；ヘラクレイトスとパルメニデス；「多元論的自然観」の思想家たち；ソフィストたち。		
	授業内容			

「哲学は知への愛！探求！チャレンジ！」「哲学の様々な領域（11つ）」「ルネサンス期以降の哲学：「理性の科学」という専門分野」「哲学の誕生（通説）：哲学は古代ギリシアの港町とアテナイの道端で生まれた！」「哲学と宗教の違い」「哲学の出発点：古代ギリシアの詩人たち、神話と密教的な宗教が設定した、いくつかの根本的な問い」；
 「『万物の根源』への関心」「『自然学的な博識としての哲学：「一元論」「物活論」「汎神論」（自然科学の起源）」「最も古い進化的な発想」「最も古い機械論的な発想（物理学の始まり）」「純粋に論理的な（抽象的な）数学の誕生：靈魂を浄化していくための「救いの手段」としての数学」「すべてを数字で捉えることができるという立場の起源と問題点」「万物の変化と多様性を捉える「感覚」VS不変の真実を捉える「理性」」「科学思想のベース：いつのどこの誰とでもシェアできる確かな知識にたどり着きたいなら、「感覚」は信用できない！「理性」に頼るしかない！！」「「感覚」と「理性」は世界について正反対のことを伝えている！」「万物の構成元素：いくつかの説」「構成元素を結合させたり分離させたりする力は、宇宙の優れた知性のような合理的な力だ！」最初の「原子論」と「唯物論」」「『職業教師』の登場と文化の普及」「『絶対主義（＝「絶対の真実は存在しない」）』すべての意見には同じ重さと同じ価値がある」という立場」の起源と問題点」「レトリック（弁論術）と「言語学」の誕生」などについて共に考える。
 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。
 （予習時間30分、復習時間30分）

2	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	ソクラテス（前470年／前469年-前399年）とプラトン（前427年-前347年）：『ソクラテスの弁明』『クリトン』『クラテュロス』『エウテデモス』『パイドロス』『国家』『シンポジオン（饗宴）』『テアイテスー知識について』『パルメニデスーイデア論について』『ソピステスー「存在」について』『ティマイオス』『政治家』『法律』。		
	授業内容	<p>「世界で最も賢い人はどんな人？（デルフォイのお巫さんの予言）」「ソクラテスの登場：哲学をする方法が変わる！」「道ばたで人をとめて子供のような質問をするソクラテス」「自分の知識の「前提」について誰も答えられない！」「無知の知（自分は何も知らないということをよく知る）＝哲学をする条件」「逃げていく真実」「ソクラテスの方法：「エイロネイア」（「アイロニー」＝何も知らないふりをすること）と「マイエウティケ（産婆の術）」」「エデュケーション（人間教育＝真実を人の中から引き出すという方法）の誕生」「善と悪とは何か？」「ソクラテスの死とその意味」； 「大学の誕生：プラトンの「アカデメイア（アカデミー）」」「『科学』の誕生：いつのどこの誰とでもシェアできる知識＝客観的な知識、これを「科学」と呼ぶ」「理性が捉える「イデア（観念）」とは何か？（諸事物の理想的な姿）」「『イデアの世界（超天境界）はどこにあるのか？』」「『二元論』：世界は二つ（地上と超天境界）、知識も二種類！（地上的なものを捉える「感覚」による「意見」と、観念的なものや諸事物の理想的な姿を捉える「理性」による「知識」）」「イデアの種類（4つ）」「『理想』と『現実』の関わり＝地上の万物と超天境界のイデアたちとの関わり：「ミメシス（真似／不完全な複写）」」「学ぶことは思い出すことだ！（「メテムサイコス（輪廻転生）」と「アナムネシス（思い出すこと）」）」「プラトンの「神」（デミウルゴス）：イデアに基づいて物質を形づける「宇宙形成の原理」」「靈魂の三分説：理性、意志と欲望」「プラトンの国家論：理想的な共和国とその三つの社会階級」「経済的なことをやっている人たちは好きなように生きていい；しかし、政治に関わってはいけない！」「哲人王思想：政治は哲人にしかできない！」「哲人が送るべき生活様式：プラトンの共産主義」「政治家を目指す哲人のカリキュラム：少なくとも50歳まで「理論哲学」と「応用哲学」を勉強しなきゃ！」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）</p>		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	アリストテレス（前384年-前322年）：『オルガノン』『形而上学』『自然学』『靈魂論』『ニコマコス論理学』。		
	授業内容	<p>「高校の誕生：アリストテレスの「リュケイオン」」「何かについて考えたいなら、まず「考えることとは何か」からスタートすべきだ！」「『考えること』とは頭の中で言語で喋ることだ！」「すべての学問のベースとなった論理学：「考える行為」は何で出来ているのか？概念⇒命題⇒論法！」「『三段論法（最も完璧な論法）』」「最初に「妥当な前提」を見つけることの重要性」「モノの定義をつくるための方法（2つ）：Aの定義＝Aが所属するジャンル＋他のスピーシスとの違い；Aの「実体（本質的な特徴）を直観的に特定すること」」「形而上学：「存在」というものの様々な表現（「実体」「偶有性」「原因」「可能態」と「現実態」等）」「万物の変化（生成）とその進み方：「可能性」⇒「現実」」「可能性＝まだ特定のかたちをとっていない物質」「現実＝物質的なものが一つのかたちになった状態」「目に見えるもの（現実）は、目に見えないところ（可能性）から来ている！」「『神』：すべてを動かす「不動の動者」」「最後は、すべてが「神（これ以上の可能性がない、すべてが完成した最終的な「かたち）」になる！」「自然学＝場所移動の科学」「靈魂の三つの機能：植物と動物にも靈魂がある！」「倫理：欲望を制限するための「倫理的な卓越性」、すべての極端を避けるための「中庸（『思考の卓越性』）」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）</p>		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ			

R. デカルト (1596-1650) : 『世界論』 (1633)、『みずからの理性を正しく導き、もろもろの学問において真理を探究するための方法についての序説およびこの方法の試論 (方法序説)』 (1637)、『情念論』 (1649)。

授業内容 「歴史的背景：科学革命の時代」「デカルト：近世合理主義の父」「学生時代のデカルトの不満足：学校は最も大事なこと（考えること、生きること）を教えてくれない！」「デカルトの目的：「何にでも使える万能な方法」とそのルール」「デカルトが最初に採用した立場：方法的懐疑（懐疑主義）」「私たちは、考える主体性としては間違いなく存在している！（我思う、故に我在り）」「私たちの「考える主体性」：「思考する実体（精神）」「私たちの「考える主体性」以外のもの：延長する実体（身体）とその他の物質的なもの）」」「観念の種類（3つ）：「人為観念」「外来観念」「生得観念」」「「神が存在する合理的な証拠」にいたるデカルトの考察」「自然学：延長と運動、宇宙定数：質量と運動量」「「遠距離で働く力」に対する、デカルトとガリレオ・ガリレイの抵抗感」「神を必要としない科学の始まり：神が世界と諸事物を創造した後、世界と諸事物はそれぞれで（神の関与なしで）動き始めたんだ！」「現在の医療文化のベース：「心身二元論」」「延長する実体（身体）」は生物学的なマシーンと考えていいんだ！」「「思考する実体（精神）」と「延長する実体（物質的なもの）」はどこでやり取りをしているのか？（松果体の役割）」などについて共に考える。
※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。
（予習時間30分、復習時間30分）

5 年月日(曜日) 令和 7年06月02日(月) 時限 2限

講義室 講堂2F

担当者 ジリオ

テーマ I. カント (1724-1808) : 『可感界と可想界の形式と原理』 (1770)、『純粋理性批判』と『学として現れるであろうあらゆる将来の形而上学のための序論 (プロレゴメナ)』 (1771)。

授業内容 「デカルトの「合理主義」 (=「理性」だけで充分だという立場) のリミット」「ニュートンの物理学が描いた世界観 (=「空間」と「時間」と「因果関係」は絶対だ！人間がいてもいなくても、宇宙で客観的なものとして存在している！という世界観) の問題点」「イギリス経験論 (「経験主義」=私たちに「生得観念」などない！人間は「外の世界」に書き込まれていく白紙の状態だ！という立場) の問題点」「カントの「批判主義」：理性は自分を自分で裁判にかけるべきだ！(理性のリミットを理性でチェックする！)」「カントの認識論：「時間」と「空間」と「因果関係」は、「外の世界」の特徴ではない！私たちが最初から持っている「先験的な認識形式」(頭の中の「フィルター」や頭の中の「引き出し」のようなもの)だ！」「人間の3つの認識能力：感性と知性と理性」「重要な区別：「現象 (=私たちの頭の中で出来ていく物のイメージ)」と「物自体」」「人間たちの知識の「客観性」と「妥当性」は人間たちの世界に限られている！(自然科学のリミット)」「哲学のコペルニクスの転回 (哲学革命)：「客観的」だと思っていたものは、すべて「主観的」なものだった！」「人間の主体性こそ自然界の立法者 (コ・クリエーター)だ！」「人間的な知識 (数学的な知識、自然科学的な知識と従来の存在論) の根拠と妥当性の範囲」「「全体的なもの」を評価しようとする「理性」とそこから生まれた「存在論」：「理性は根拠のない認識能力だ！」「「存在論」は「科学」にはなれない！(従来の存在論のリミット)」「哲学は、人間の「先験的な認識形式」だけを研究すべきだ！という結論」などについて共に考える。
※まとめを「まとめクイズ (試験問題)」というかたちで提供する。
（予習時間30分、復習時間30分）

6 年月日(曜日) 令和 7年06月09日(月) 時限 2限

講義室 講堂2F

担当者 ジリオ

テーマ G. W. F. ヘーゲル (1770-1831) : 『精神現象学』 (1807)、『哲学体系の百科事典 (エンチクロペディ)』 (1817-1830)。

授業内容 「歴史的背景：「ロマン主義」と「観念論哲学」の時代」「ロマン主義：すべてのリミットを超えたい！すべてにリミットをつけようとする「理性」は頼りにならない！何にもリミットをつけない「感情」のほうがいい！」「ヘーゲル哲学の前提：「有限なもの (パーツ)」と「無限なもの (全体的なもの = 宇宙)」との関わり」「「全体的なもの」だけがリアル！個別に存在しているような「パーツ」は私たちが一方的に抽象していく「リアルでない」もの！」「リアルなもの (=全体的なもの) は100%合理的なものだ！」「「理性 (=「無限なもの」の全体性・無限性・合理性を捉える能力)」と「現実」の関わり」「在ること = 在るべきこと：世界と歴史と人生のすべては「計画的」で合理的だ！」「「絶対精神」 (／「宇宙精神」 = 宇宙という巨大な、優れた知性) とはどのようなものなのか？」「宇宙という巨大な、優れた知性の中から捉えた「人間」：人間は宇宙の話ができる宇宙の一つの活動だ！人間は宇宙の「自己意識」だ！」「世界と歴史と人生が進んでいく合理的な法則：「弁証法」とその三つの段階」「カントは間違っていた！全体的なもの (「宇宙精神」) との一致の体験は可能だ！」「励ましの哲学：自分を動かしている「精神 (個性)」は「宇宙精神」の一側面だ！自分の「夢」は宇宙的な計画の一側面だ！」「「宇宙精神」の全体性・無限性・合理性が人間の心に現れてくる三つの段階：意識⇒自己意識⇒理性」「世界 (全体的なもの) は世界 (全体的なもの) としてしか変わらない！一人だけで世界を変えることはできない！」「哲学の役割は、まず世界の合理性を解説することだ！」「私たちに最も近い「全体的なもの」：「倫理性」としての国家 (全体的なものとの一致の体験はまず共同体として実現されていく！)」「「宇宙精神」は「文化」というかたちでどのようにその全体性・無限性・合理性を段階的に表現していくのか：物質的なもので「宇宙精神」の無限性等を表現しようとする「芸術」⇒精神的な内容を物語で伝えようとする「宗教」⇒純粋に観念的なものだけで「宇宙精神」の全体性・無限性等を解説してくれる「哲学」などについて共に考える。
※まとめを「まとめクイズ (試験問題)」というかたちで提供する。
（予習時間30分、復習時間30分）

7 年月日(曜日) 令和 7年07月07日(月) 時限 2限

講義室 講堂2F

担当者 ジリオ

テーマ	E. フッサール (1859-1938) : 『算術の哲学—論理的かつ心理学的研究』 (1891)、 『論理学研究』 (1900-1901)、 『純粹現象学、および現象学的哲学のための考察イデーン』 (1913)、 『ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学』 (1953)。			
授業内容	<p>「現代での哲学の「居場所」と「必要性」：科学は「方法の学」、哲学は「観念 (=本質) の学」だ！」 「科学は諸事物の「可変で偶発的な特徴」を研究する；哲学は諸事物の「不変で本質的な特徴 (観念)」を研究する！」 「諸事物の「観念」：諸事物の「本質的な特徴」が人間の意識に現れてくるイメージ (諸事物の観念=諸事物の本質)」 「モノの本質 (観念的なもの) は、どのような意味で人間たちの意識に現れてくるのか：「現象学」としての哲学の誕生」 「「エポケー」という実践：現象の、時代と地域によって変化する部分を取り除くこと」 「エポケーを行ったところ：残るものは常に変わらない「現象学的な剰余 (=最も本質的なもの)」 「万物のそれぞれの本質 (観念的なもの) は人間たちの意識の中でどのように関わっているのか？」 「「意識」とは何で出来ているのか：何かを意識する主体性 (=「ノエシス」) +意識されたもの (=「ノエマ」)」 「「ノエマ」：可変で偶発的な「事実的なもの (所与) +不変で本質的なもの (「観念的なもの」) の結合」 「最後に残る「意識の最も根本的な行為」は「モノの本質を直観する行為」だ！」 「我々の意識は何に影響されているのか：「真意の地平線」「体験の地平線」 (=我々の「背景」にあるもの=個人の歴史、文化の歴史、スベイスとしての進化的歴史等)」 「科学はモノの「目的」と「意味」については何も言えない！それは「哲学」の仕事だ！」 などについて共に考える。</p> <p>※まとめを「まとめクイズ (試験問題)」というかたちで提供する。 (予習時間30分、復習時間30分)</p>			
8	年月日 (曜日)	令和 7年07月14日 (月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	M. ハイデッガー (1889-1976) : 『存在と時間』 (1927)。		
	授業内容	<p>「ナチス政権との関わり」「存在」の問題：「存在」は構造的に定義不能だ！」 「人間は「現存在」で、「世界内存在」だ！今ここで世界に投げ込まれているものだ！」 「「実存論的分析」：人間の研究は「存在」そのものの研究に入るための手段だ！」 「「現存在 (=人間) は「可能性」である！」 「人生は「選択」「企画」である！」 「人間の特徴：「理解」ができること、「可能性」であること」 「二種類の「理解」：「存在的理解 (日常的、感覚的理解)」と「存在論的理解 (生活の具体性を越えた、「存在」そのものの理解)」 「二種類の存在様式：「存在的存在 (深くは考えないで存在しているだけという在り方)」と「存在論的存在 (「存在」そのものについて考えながら生きていくという在り方)」 「モノの理解と用具性：人間は何かを理解している時、「道具」として理解している！」 「人間は「超越的」！人間の視点は本質的に操作的で技術的だ！」 「人間によるモノのケア：モノを自分の企画性に含んでいくこと」 「他者のケア：他者が、自分で自分の選択肢を行えるように、他者を助けてあげること；他者が、自分で自分の責任をとれるように、他者を助けてあげること」 「他者への「非真正なケア」：他者の代わりに他者の企画と選択肢まで自分で背負ってしまうこと」 「「企画」と「先理解」：人間は自分の計画に合わせてモノの意味を事前に決めている！」 「「非真正な生活」「非人称的な生活」：みんながそうするなら自分もそうしよう；みんながそう考えるなら自分もそう考えよう (=どの可能性も選ばない；自分の行動の責任もとらない)」 「「真正な生活」：自ら考えて、自ら決める！」 「「非真正な生活」：無駄な好奇心、噂話、曖昧さに支配された生活」 「「真正な生活」：死を念頭においておく生活 (「死のための生活」)」 「「死」と「不安」」「「存在」は、「存在を否定するもの (死)」を通して人間たちに語り掛けてくる」 「時間：「現存在 (=人間)」が生活をしている基本的な次元」 などについて共に考える。</p> <p>※まとめを「まとめクイズ (試験問題)」というかたちで提供する。 (予習時間30分、復習時間30分)</p>		
評価方法	<p>1. 定期試験期間内に筆記試験を行う (再試験は行わない)。 2. 定期試験100%で成績評価を行う。 ※ 定期試験を受験できるための条件は十分な受講率であるということをお忘れずに！</p>			
教科書	竹田青嗣・西研『高校生のための哲学・思想入門』 (筑摩書房)			
参考書	<p>授業中に適宜紹介する (例：先生自作のPowerPoint資料を使用した講義と試験問題集)。 ※毎回、その内容のまとめをクイズのかたちで提供する；期末試験の実際の試験問題はそこから選ぶ。</p> <p>その他の参考書：行岡哲男『医療とは何か』 「第三章 医療を哲学する—現象学と言語ゲームを手がかりに」 (河出書房新社)</p>			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。授業後に相談を受け付けます。			
履修上の注意、履修要件	予備知識は必要としませんが、授業後には学習内容を見直してください。			

講義名	スポーツ科学		
(副題)	基礎分野（人間と生活）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	3限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 赤坂 清和	理学療法学科教員

担当教員	赤坂 清和・大久保 雄・澤田 豊・服部 寛
科目の目標	医療従事者としてスポーツ、運動、トレーニングや、健康との関わりについて正しい知識を習得する。
学習の具体的な目標	<p>本授業はプレゼンテーション方式で行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) “正しい（効果のある）” トレーニングの意義、方法、考え方について説明できる。 2) 肥満についての知識と運動、栄養との関係について説明できる。 3) 筋力、持久力それぞれのトレーニングの目的と方法について説明できる。 4) スポーツ栄養の考え方と、運動とサプリメントとの関わり、運動時の乳酸の役割について考察できる。 5) スポーツを含む、身体動作が上達する仕組みについて考察できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	赤坂		
	テーマ	スポーツと理学療法, 理学療法士の活躍について(1)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会におけるスポーツの役割について説明できる。 2. スポーツ実践者における種類について説明できる。 3. スポーツにおける理学療法及び理学療法士の役割について述べる事ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	赤坂		
	テーマ	スポーツと理学療法, 理学療法士の活躍について(2)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会におけるスポーツの役割について説明できる。 2. スポーツ実践者における種類について説明できる。 3. スポーツにおける理学療法及び理学療法士の役割について述べる事ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	3限
	講義室	301		

担当者	赤坂			
テーマ	体育とスポーツについて			
授業内容	1. 教育における体育について説明できる。 2. 体育とスポーツの共通点と相違点について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	澤田		
	テーマ	スポーツ歴史学の思考法		
	授業内容	1. スポーツの起源について説明できる。 2. スポーツから見た歴史の出来事について説明できる。 3. 健常者と障害者におけるスポーツの役割について説明できる。 4. 高齢者からスポーツ選手に至るまで、それぞれのトレーニングの意義について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	澤田		
	テーマ	社会におけるスポーツ		
	授業内容	1. 社会におけるスポーツの役割について説明できる。 2. 社会におけるスポーツの発展について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	大久保		
	テーマ	スポーツと健康		
	授業内容	1. 健康におけるスポーツの役割について説明できる。 2. 幼児から大学における健康維持とスポーツの実践方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	大久保		
	テーマ	スポーツと教育		
	授業内容	1. 教育におけるスポーツの役割について説明できる。 2. 幼児から大学におけるスポーツの実践方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	服部		
	テーマ	スポーツとバイオメカニクス		
	授業内容	1. バイオメカニクスについて説明できる。 2. 運動学について説明できる。 3. 運動力学について説明できる。 4. バイオメカニクスにおける運動学および運動力学について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	服部		
	テーマ	スポーツと生理学		
	授業内容	1. 摂取エネルギー量と消費エネルギー量の出納について説明できる。 2. 基礎代謝量、安静時代謝量、運動時代謝量の違いについて説明できる。 3. 筋の脱共役タンパク質の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	3限
	講義室	301		

担当者	服部			
テーマ	スポーツとトレーニング			
授業内容	1. トレーニングの種類について説明できる。 2. スポーツにおけるトレーニングの目的について説明できる。 3. スポーツにおけるトレーニング方法について説明できる。 4. %HRmax法、カルボーネン法について説明ができ、運動強度の指標として算出できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	澤田		
	テーマ	スポーツと栄養学		
	授業内容	1. 運動特性に対応するエネルギー供給機構を列挙し、説明できる。 2. スポーツ種目の特性に応じたトレーニング方法を選択することができる。 3. 運動時に産生される乳酸について理解した上で、その役割について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	大久保		
	テーマ	スポーツと心理学		
	授業内容	1. スポーツにおける心理状況について説明できる。 2. スポーツにおける心理状況を改善させる方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	服部		
	テーマ	子どもの健康と生活		
	授業内容	1. 子供の健康について説明できる。 2. 子供の生活について説明できる。 3. スポーツの観点から子供の検討と生活の特徴について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	大久保		
	テーマ	スポーツ医学		
	授業内容	1. スポーツ医学の定義について説明できる。 2. スポーツ医学から見た理学療法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	3限
	講義室	301		
	担当者	赤坂		
	テーマ	スポーツと女性について		
	授業内容	1. 女性の身体変化について、男性と対比させながら説明できる。 2. ホルモンから見た性差について説明できる。 3. スポーツにおける女性の特徴について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	出席及びレポートにより判定し、定期試験期間中の試験及び再試験は実施しない。また、レポート提出を課した場合にはコメントを返す。			
教科書	大学体育・スポーツ学への招待(ナップ社)			
参考書	大学体育・スポーツ学への招待 ワークブック―実践的な学びのために―(ナップ社)			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【赤坂 清和】 月曜日と金曜日の13-16時とする。 上記時間帯に訪問することが難しい場合には、事前にアポイントメントをとること。 E-mail : akasaka-smc@umin.ac.jp			

履修上の注意、履修要件

授業終了後には当日の授業内容およびテキストの該当部分について見直しを行うこと。疑問、質問点などがある場合には、次回授業時に質問できるように考えをまとめておくこと。
(予習時間30分、復習時間30分)

講義名	社会の理解		
(副題)	基礎分野		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
医師	◎ 嶋崎 晴雄	共通教育部門教員

担当教員	嶋崎 晴雄・大野美佐子・是村 利幸
科目の目標	将来、患者さんやその家族、医療スタッフに信頼される、役に立つ医療人となるために、基礎的なコミュニケーション能力を身につけるとともに、医療人としての適正な倫理観のもとに、病める人の気持ちを理解し共感できる下地を修得する。
学習の具体的な目標	<p>1) お年寄りと“応対する”時に気をつけるべきことを説明できる。</p> <p>2) 患者さんと医療人とが良好な関係を構築することの意義を説明できる。</p> <p>3) 患者さんと医療人との関係に破綻を招く種々の要因およびそれへの対応について、自分の考えを述べることができる。</p> <p>各主題について、グループワークののちプレゼンテーションを行いお互い評価する。</p>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	3限
	講義室	C408		
	担当者	嶋崎・大野・是村		
	テーマ	コミュニケーション1：お年寄りとの応対1		
	授業内容	<p>1. まず教室でKJ法と今回のテーマについて説明する。</p> <p>2. ついで、学生を6-7名の8グループに分ける(8室のセミナールームを使用)。</p> <p>3. お年寄りとの応対をテーマにKJ法を用いて討論し、各グループでプロダクトを作成する。(予習時間30分、復習時間30分)</p>		
2	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	3限
	講義室	C408		
	担当者	嶋崎・大野・是村		
	テーマ	コミュニケーション2：お年寄りとの応対2		
	授業内容	<p>1. 各グループ10分の持ち時間でプロダクトを発表した上で、全体討論を行う。</p> <p>2. この作業を通じて、お年寄りとのコミュニケーションを円滑にする方策について考える。(予習時間30分、復習時間30分)</p>		
3	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	3限

講義室	C408			
担当者	嶋崎・大野・是村			
テーマ	患者 - 医療人関係1：良い医療人と悪い医療人1			
授業内容	1. まず教室で今回のテーマについて説明する。 2. ついで、学生を6-7名の8グループに分ける（8室のセミナールームを使用）。 3. 各自がこれまでに見聞きした「良い医療人」と「悪い医療人」についてKJ法を用いて討論し、各グループでプロダクトを作成するとともに、「理想の医療人とは」を箇条書きにする。 （予習時間30分、復習時間30分）			
4	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	3限
	講義室	C408		
	担当者	嶋崎・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係2：良い医療人と悪い医療人2		
	授業内容	1. 各グループ5分の持ち時間でプロダクトを発表した上で、全体討論を行う。 2. この作業を通じて、医療人と患者さんとの好ましい関係について考える。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	3限
	講義室	C408		
	担当者	嶋崎・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係3：医療人の話		
	授業内容	1. 理学療法士、臨床検査技師、看護師および作業療法士の現役医療人各1名ずつを招聘し、各職場における患者さんとのかかわりとその失敗例、困った患者さんへの対応などについて、講演と質疑応答を行う。 2. これらの事例を通して、患者さんと医療人との好ましい関係について考える。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	3限
	講義室	C408		
	担当者	嶋崎・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係4：無口になったAさん1		
	授業内容	1. まず教室で今回のテーマについて説明する。 2. ついで、学生を6-7名の8グループに分ける（8室のセミナールームを使用）。 3. Aさんの事例における問題点とその解決策についてKJ法を用いて討論し、各グループでプロダクトを作成する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	3限
	講義室	C408		
	担当者	嶋崎・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係5：無口になったAさん2		
	授業内容	1. 各グループ5分の持ち時間でプロダクトを発表した上で、全体討論を行う。 2. この作業を通じて、患者さんと医療人との関係に破綻を招く種々の要因およびその対応について考える。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	4限
	講義室	C408		
	担当者	嶋崎・大野・是村		
	テーマ	コミュニケーション3：まとめ/患者 - 医療人関係6：まとめ		
	授業内容	1. コミュニケーションについての振りかえり、まとめ 2. 患者さん-医療人関係についての振りかえり、まとめ （予習時間30分、復習時間30分）		
評価方法	出席状況、受講態度、プロダクトの作成・発表状況などをもって、総合的に評価する。作成したプロダクトおよび発表については、学生による同僚評価も実施し、評価の集計をフィードバックする。なお、授業回数の4/5以上に出席しなければ不合格となる。（遅刻は0.5回相当） 再試験：なし			
教科書	プリント教材を適宜配布する。			
参考書	なし			

連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【嶋崎 晴雄】 水曜日の12時10分から13時10分 上記時間帯での訪問が難しい場合は、事前にメールにてアポイントメントをとること。 メールによる質問等は随時受け付けます。 メールアドレス：hshimaza@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>授業前日にはシラバスの該当部分を確認し、記載されたテーマについて図書館やインターネットで予習、また授業後には自ら調べた資料の整理・分析、発表用資料の構成検討、発表の練習などを怠らないこと。</p>

講義名	人体の構造と機能演習Ⅰ（構造系）		
（副題）	専門基礎分野（人体の構造と機能及び心身の発達）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	1限
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 時田 幸之輔	理学療法学科教員

担当教員	時田幸之輔・姉帯 沙織・後藤 遼佑
科目の目標	人体の構造と機能についての理解は理学療法分野の学習の基礎となる。形態と構造の学（解剖学）と機能の学（生理学）の伝統をふまえ、同時に人体の形態、構造、機能を相互に関連づけて理解することを目標とする。また、身体を実感を伴って、立体的に、構成要素が互いに関連しあったものとして理解できるようになることを目指す。「人体の構造と機能演習Ⅰ（構造系）」においては主として動物性器官（骨・筋・神経など）の形態と構造について、一部動物液浸標本などを用いながら、演習形式で学習する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 人体における骨および関節の構成を説明できる。 2) 各骨における関節の形態と構造を説明できる。 3) 人体における骨格筋の構成を説明できる。 4) 骨格筋の構造を肉眼レベルおよび組織・細胞レベルで説明できる。 5) 各筋の起始、停止、神経支配、作用を説明できる。 6) 末梢神経系の構成と形態学的特徴を説明できる。 7) 主要な神経の起始、走行、分布、機能を説明できる。

授業計画表				
A班				
1	年月日（曜日）	令和 7年04月11日（金）	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	解剖学総論・骨格系総論・末梢神経系総論・骨格標本の観察1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体を構成する器官系、組織について説明できる。 2. 人体の形態および構造を記述するために必要な用語について説明できる。 3. 神経系の機能および構成について説明できる 4. 末梢神経系の構成について説明できる。 5. 脊髄神経の構成について説明できる。 6. 骨および関節の基本的な構造を説明できる。 7. 人体を構成する骨およびその連結を整理して説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日（曜日）	令和 7年04月11日（金）	時限	2限
	講義室	301・101・102		

担当者	時田・姉帯・後藤			
テーマ	脊髄神経後枝・胸神経前枝・骨格標本の観察2：体幹の骨格			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 脊髄神経後枝の形態学的特徴について説明できる。 胸神経前枝（肋間神経）の形態学的特徴を脊髄神経のもつ特性と関連させて説明できる。 分節高の変化にともない典型的な肋間神経の特徴がどのように変化するか説明できる。 頸神経叢の構成を説明できる。 主要な神経の起始、層序、走行、分岐、他の構造物との位置関係、分布を説明できる。 頸神経叢の特徴を脊髄神経前枝の一般的特徴と関連させて説明できる。 頸神経叢が障害されたときに生じる症状とその理由を説明できる。 骨格標本上で体幹の骨の主要な部位を観察し同定できる。 体幹の主要な骨あるいは部位の形態特徴を観察・描画し説明できる。 脊柱および胸郭、骨盤の構成と構造を観察し説明できる。 <p>8,9,10についてはグループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよびその説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)</p>			
3	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	頸神経前枝(腕神経叢)・骨格標本の観察3：上肢の骨格		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 腕神経叢の構成を説明できる。 主要な神経の起始、層序、走行、分岐、他の構造物との位置関係、分布を説明できる。 腕神経叢の特徴を脊髄神経前枝の一般的特徴と関連させて説明できる。 腕神経叢が障害されたときに生じる症状とその理由を説明できる。 上肢の骨格の構成と骨の配列および連結を説明できる。 各骨の形態を説明できる。 各関節の形態、構造と運動を互いに関連させて説明できる。 骨格標本上で各骨の主要な部位を観察し同定できる。 主要な骨あるいは部位の形態特徴を観察・描画し説明できる。 <p>8,9についてはグループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよびその説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)</p>		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	腰仙骨神経前枝・骨格標本の観察4：下肢の骨格		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 腰仙骨神経叢の構成を説明できる。 主要な神経の起始、層序、走行、分岐、他の構造物との位置関係、分布を説明できる。 腰仙骨神経叢の特徴を脊髄神経前枝の一般的特徴と関連させて説明できる。 腰仙骨神経叢が障害されたときに生じる症状とその理由を説明できる。 下肢の骨格の構成と骨の配列および連結を説明できる。 各骨の形態を説明できる。 各関節の形態、構造と運動を互いに関連させて説明できる。 骨格標本上で各骨の主要な部位を観察し同定できる。 主要な骨あるいは部位の形態特徴を観察・描画し説明できる。 <p>8,9についてはグループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよびその説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)</p>		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	脳神経		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 脳神経の構成を説明できる。 各脳神経の特徴について説明できる。 主要な脳神経について起始、走行、分岐や合流、他の構造物との位置関係、分布、機能を説明できる。 主要な脳神経について障害されたときの症状とその理由を説明できる。 <p>(予習時間30分、復習時間30分)</p>		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	骨格標本の観察5：頭部の骨格		

授業内容	1. 頭部および体幹の骨格の構成を説明できる。 2. 主要な頭蓋骨について形態と配置を説明できる。 3. 頭蓋を貫く孔や管をその内容物と対応させて説明できる。 4. 骨格標本上で各骨の主要な部位を観察し同定できる。 5. 主要な骨あるいは部位の形態特徴を観察・描画し説明できる。 4,5についてはグループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよびその説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)			
7	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 1： オリエンテーション 体表の観察・剥皮		
	授業内容	1. 系統解剖学的理解と局所解剖学的理解の特徴を説明できる。 2. 体表上から身体の区分および部位の同定ができる。 3. 体表上から形態学的な特徴にもとづき雌雄の判別ができる。 4. 体表上から観察できる形態学的特徴を観察し線描にて描画できる。 5. 皮膚の構成について説明できる。 6. 皮下を走行する神経を保存しながら真皮と皮下組織の境界を剥皮ができる。 グループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよび説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 2：皮下の解剖と観察		
	授業内容	1. 身体各部位の皮下に出現する皮神経を予測することができる。 2. 皮下の結合組織を除去して皮神経を適切に剖出できる。 3. 剖出した皮神経を根拠をあげて観察し同定できる。 4. 剖出した皮神経を線描にて観察・描画できる。 グループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよび説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 3：頸部最浅層の筋の剖出と観察		
	授業内容	1. 頸部最浅層の骨格筋の構成、配置を予測できる。 2. 表面の結合組織を除去して各筋の表面の筋束の走行、輪廓を観察し剖出できる。 3. 各筋を根拠をあげて同定できる。 グループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよび説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 4：体幹浅層筋		
	授業内容	1. 体幹浅層の骨格筋(僧帽筋、広背筋等)の構成、配置を予測できる。 2. 表面の結合組織を除去して各筋の表面の筋束の走行、輪廓を観察し剖出できる。 3. 各筋を根拠をあげて同定できる。 グループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよび説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		

テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 5：頸部の筋，神経，血管の剖出と観察-1			
授業内容	1. より深層の筋の構成，神経，血管等の走行を予測できる。 2. 各筋を指示にしたがい適切に翻し，より深層の筋(胸鎖乳突筋等)，神経(頸部の皮神経，副神経等)，血管(外頸静脈，内頸静脈等)等を観察し剖出できる。 3. 各筋，神経，血管等を根拠をあげて同定できる。 グループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよび説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)			
12	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 6：頸部の筋，神経，血管の剖出と観察-2		
	授業内容	1. 頸部深層において舌骨下筋群，頸神経叢，総頸動脈，内頸静脈，迷走神経などの構造物を観察し剖出できる。 2. 剖出された筋，神経，血管等を根拠をあげて同定できる。 3. 剖出した構造物と互いの位置関係を観察し線描にて描画して記録できる。 グループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよび説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 7：背側肩帯筋の剖出と観察-1		
	授業内容	1. 背側肩帯筋の構成，支配神経の走行を予測できる。 2. 体幹表層筋を指示にしたがい適切に翻し，背側肩帯筋のうち菱形筋と肩甲挙筋を観察し剖出できる。 3. 菱形筋と肩甲挙筋の支配神経を観察し剖出できる。 4. 各筋，神経を根拠をあげて同定できる。 グループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよび説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 8：背側肩帯筋の剖出と観察-2		
	授業内容	1. 背側肩帯筋の構成，支配神経の走行を予測できる。 2. 体幹表層筋を指示にしたがい適切に翻し，背側肩帯筋のうち前鋸筋を観察し剖出できる。 3. 前鋸筋の支配神経を観察し剖出できる。 4. 筋，神経を根拠をあげて同定できる。 グループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよび説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	観察所見報告		
	授業内容	1. 観察した観察した標本について観察所見を説明できる。 2. 観察所見を発表できる。 3. 教員からの質問に答えるとともに互いにディスカッションできる。 4. 質疑応答やディスカッションの内容をふまえてスケッチを修正して提出する。 グループワークにて行う。 スケッチ課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		

B班

1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		

テーマ	解剖学総論・骨格系総論・末梢神経系総論・骨格系各論 1			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体を構成する器官系、組織について説明できる。 2. 人体の形態および構造を記述するために必要な用語について説明できる。 3. 神経系の機能および構成について説明できる。 4. 末梢神経系の構成について説明できる。 5. 脊髄神経の構成について説明できる。 6. 骨および関節の基本的な構造を説明できる。 7. 人体を構成する骨およびその連結を整理して説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分) 			
2	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	脊髄神経後枝・胸神経前枝・骨格標本の観察2：体幹の骨格		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脊髄神経後枝の形態学的特徴について説明できる。 2. 胸神経前枝(肋間神経)の形態学的特徴を脊髄神経のもつ特性と関連させて説明できる。 3. 分節高の変化にともない典型的な肋間神経の特徴がどのように変化するか説明できる。 4. 頸神経叢の構成を説明できる。 5. 主要な神経の起始、層序、走行、分岐、他の構造物との位置関係、分布を説明できる。 6. 頸神経叢の特徴を脊髄神経前枝の一般的特徴と関連させて説明できる。 7. 頸神経叢が障害されたときに生じる症状とその理由を説明できる。 8. 骨格標本上で体幹の骨の主要な部位を観察し同定できる。 9. 体幹の主要な骨あるいは部位の形態特徴を観察・描画し説明できる。 10. 脊柱および胸郭、骨盤の構成と構造を観察し説明できる。 8, 9, 10についてはグループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよびその説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	頸神経前枝(腕神経叢)・骨格標本の観察3：上肢の骨格		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 腕神経叢の構成を説明できる。 2. 主要な神経の起始、層序、走行、分岐、他の構造物との位置関係、分布を説明できる。 3. 腕神経叢の特徴を脊髄神経前枝の一般的特徴と関連させて説明できる。 4. 腕神経叢が障害されたときに生じる症状とその理由を説明できる。 5. 上肢の骨格の構成と骨の配列および連結を説明できる。 6. 各骨の形態を説明できる。 7. 各関節の形態、構造と運動を互いに関連させて説明できる。 8. 骨格標本上で各骨の主要な部位を観察し同定できる。 9. 主要な骨あるいは部位の形態特徴を観察・描画し説明できる。 8, 9についてはグループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよびその説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	腰仙骨神経前枝・骨格標本の観察4：下肢の骨格		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 腰仙骨神経叢の構成を説明できる。 2. 主要な神経の起始、層序、走行、分岐、他の構造物との位置関係、分布を説明できる。 3. 腰仙骨神経叢の特徴を脊髄神経前枝の一般的特徴と関連させて説明できる。 4. 腰仙骨神経叢が障害されたときに生じる症状とその理由を説明できる。 5. 下肢の骨格の構成と骨の配列および連結を説明できる。 6. 各骨の形態を説明できる。 7. 各関節の形態、構造と運動を互いに関連させて説明できる。 8. 骨格標本上で各骨の主要な部位を観察し同定できる。 9. 主要な骨あるいは部位の形態特徴を観察・描画し説明できる。 8, 9についてはグループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよびその説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	脳神経		

授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳神経の構成を説明できる。 2. 各脳神経の特徴について説明できる。 3. 主要な脳神経について起始、走行、分岐や合流、他の構造物との位置関係、分布、機能を説明できる。 4. 主要な脳神経について障害されたときの症状とその理由を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分) 			
6	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	骨格標本の観察5：頭部の骨格		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭部および体幹の骨格の構成を説明できる。 2. 主要な頭蓋骨について形態と配置を説明できる。 3. 頭蓋を貫く孔や管をその内容物と対応させて説明できる。 4. 骨格標本上で各骨の主要な部位を観察し同定できる。 5. 主要な骨あるいは部位の形態特徴を観察・描画し説明できる。 4,5についてはグループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよびその説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 1： オリエンテーション 体表の観察・剥皮		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 系統解剖学的理解と局所解剖学的理解の特徴を説明できる。 2. 体表上から身体の区分および部位の同定ができる。 3. 体表上から形態学的な特徴にもとづき雌雄の判別ができる。 4. 体表上から観察できる形態学的特徴を観察し線描にて描画できる。 5. 皮膚の構成について説明できる。 6. 皮下を走行する神経を保存しながら真皮と皮下組織の境界で剥皮ができる。グループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよび説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 2：皮下の解剖と観察		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体各部位の皮下に出現する皮神経を予測することができる。 2. 皮下の結合組織を除去して皮神経を適切に剖出できる。 3. 剖出した皮神経を根拠をあげて観察し同定できる。 4. 剖出した皮神経を線描にて描画できる。 グループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよび説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 3：頸部最浅層の筋の剖出と観察		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頸部最浅層の骨格筋の構成、配置を予測できる。 2. 表面の結合組織を除去して各筋の表面の筋束の走行、輪廓を観察し剖出できる。 3. 各筋を根拠をあげて同定できる。 グループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよび説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 4：体幹浅層筋		

授業内容	<p>1. 体幹浅層の骨格筋(僧帽筋, 広背筋等)の構成, 配置を予測できる.</p> <p>2. 表面の結合組織を除去して各筋の表面の筋束の走行, 輪廓を観察し剖出できる.</p> <p>3. 各筋を根拠をあげて同定できる.</p> <p>グループワークにて行う.</p> <p>課題および宿題: スケッチおよび説明</p> <p>課題についてはフィードバックを行う.</p> <p>(予習時間30分、復習時間30分)</p>			
11	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 5: 頸部の筋, 神経, 血管の剖出と観察-1		
	授業内容	<p>1. より深層の筋の構成, 神経, 血管等の走行を予測できる.</p> <p>2. 各筋を指示にしたがい適切に翻し, より深層の筋(胸鎖乳突筋等), 神経(頸部の皮神経, 副神経等), 血管(外頸静脈, 内頸静脈等)等を観察し剖出できる.</p> <p>3. 各筋, 神経, 血管等を根拠をあげて同定できる.</p> <p>グループワークにて行う.</p> <p>課題および宿題: スケッチおよび説明</p> <p>課題についてはフィードバックを行う.</p> <p>(予習時間30分、復習時間30分)</p>		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 6: 頸部の筋, 神経, 血管の剖出と観察-2		
	授業内容	<p>1. 頸部深層において舌骨下筋群, 頸神経叢, 総頸動脈, 内頸静脈, 迷走神経などの構造物を観察し剖出できる.</p> <p>2. 剖出された筋, 神経, 血管等を根拠をあげて同定できる.</p> <p>3. 剖出した構造物と互いの位置関係を線描にて描画して記録できる.</p> <p>グループワークにて行う.</p> <p>課題および宿題: スケッチおよび説明</p> <p>課題についてはフィードバックを行う.</p> <p>(予習時間30分、復習時間30分)</p>		
13	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	1限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 7: 背側肩帯筋の剖出と観察-1		
	授業内容	<p>1. 背側肩帯筋の構成, 支配神経の走行を予測できる.</p> <p>2. 体幹表層筋を指示にしたがい適切に翻し, 背側肩帯筋のうち菱形筋と肩甲挙筋を観察し剖出できる.</p> <p>3. 菱形筋と肩甲挙筋の支配神経を観察し剖出できる.</p> <p>4. 各筋, 神経を根拠をあげて同定できる.</p> <p>グループワークにて行う.</p> <p>課題および宿題: スケッチおよび説明</p> <p>課題についてはフィードバックを行う.</p> <p>(予習時間30分、復習時間30分)</p>		
14	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解 8: 背側肩帯筋の剖出と観察-2		
	授業内容	<p>1. 背側肩帯筋の構成, 支配神経の走行を予測できる.</p> <p>2. 体幹表層筋を指示にしたがい適切に翻し, 背側肩帯筋のうち前鋸筋を観察し剖出できる.</p> <p>3. 前鋸筋の支配神経を観察し剖出できる.</p> <p>4. 筋, 神経を根拠をあげて同定できる.</p> <p>グループワークにて行う.</p> <p>課題および宿題: スケッチおよび説明</p> <p>課題についてはフィードバックを行う.</p> <p>(予習時間30分、復習時間30分)</p>		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	2限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・姉帯・後藤		
	テーマ	観察所見報告		
	授業内容			

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観察した観察した標本について観察所見を説明できる。 2. 観察所見を発表できる。 2. 教員からの質問に答えるとともに互いにディスカッションできる。 3. 質疑応答やディスカッションの内容をふまえてスケッチを修正して提出する。 <p>グループワークにて行う。 スケッチ課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)</p>
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期期間中に実物中間試験（5月17日(土)3・4限）と筆記試験（7月11日(金)1,2限）を行う。 2. 実物中間試験、筆記試験、授業期間中の課題、それぞれについて60点以上で単位認定を行う。 3. 実物中間試験不合格者については(6月28日(土))に、筆記試験不合格者については再試験期間中に再試験を行う。
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 分担 解剖学1 総説・骨学・靭帯学・筋学、森於菟著、金原出版 2. 分担 解剖学2 脈管学・神経系、平沢興著、金原出版 3. 線描人体解剖学、千葉正司著、考古堂
参考書	授業時に紹介する
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【時田幸之輔】月曜日2限目 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 tokita@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>授業前日には教科書の該当部分を予習し疑問点等を整理しておくこと。また、授業後には学習内容を整理し次回授業での質問事項をあげておく等復習を怠らないこと。課題は指定された期限内に提出してください。</p> <p>人体はきわめて多数の構成要素から構成されている。人体のもつ複雑さはこのような構成要素の多さとともに、これら構成要素相互の関係の多様さに起因している。このように複雑な人体の構造を理解するためには多大の時間と労力を要すると考える。予習復習を十分に行うこと、また積極的に質問することを望む。また、身体を実感をともなって立体的なイメージとして理解できるよう、骨格標本の観察、動物標本の供覧、剖出等の機会をできるだけ多くとれるようにする。</p> <p>○疑問点は遠慮なく教官に質問すること。（これは重要） ○試験前日は対応できないことがあるので、わからないところは早めに質問すること。</p> <p>入学後に解剖学実習用具を購入していただく。</p>

講義名	人体の構造と機能演習 I (機能系)		
(副題)	専門基礎分野 (人体の構造と機能及び心身の発達)		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 藤原 智徳	臨床検査学科教員

担当教員	藤原 智徳・金子 優子・山本 梓司
科目の目標	人体の構造と機能についての理解は理学療法学分野の学習の基礎となる。形態と構造の学(解剖学)と機能の学(生理学)の伝統をふまえ、同時に人体の形態、構造、機能を相互に関連づけて理解することを目標とする。
学習の具体的な目標	<p>総論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 生命を維持するための器官系を列挙できる。 2) 細胞の基本的な構成要素とその機能を説明できる。 3) 体液のホメオスタシスを説明できる。 <p>筋・神経</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 静止膜電位、活動電位の生成について説明できる。 2) 筋収縮の仕組みについて説明できる。 3) 神経系の興奮伝導現象について説明できる。 4) 脳・脊髄の機能を列挙し説明できる。 5) 手足を動かす仕組みについて説明できる。 6) 反射経路について説明できる。 7) 自律神経の構造と機能について説明できる。 8) 感覚が生じる仕組みについて説明できる。 9) 視覚や聴覚などの特殊感覚の感覚受容機構について説明できる。 <p>血液・体液系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 血液の働きを列挙できる。 2) 血球の種類と機能を説明できる。 3) 生体の防御機構を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	1章 細胞の環境、構造、機能調節		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生命維持のための条件を説明できる。 2. 生体を構成する成分について説明できる。 3. ホメオスタシスについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	3限

講義室	B205			
担当者	藤原・金子・山本			
テーマ	浸透圧についての演習			
授業内容	1. 浸透圧について説明できる。 2. 等張液について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	1章 細胞の環境、構造、機能調節 2章 活動電位およびイオンチャネル		
	授業内容	1. 細胞内小器官の働きを説明できる。 2. 細胞膜の構造と機能について説明できる。 3. 物質の細胞膜透過の機序について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	金子		
	テーマ	2章 活動電位およびイオンチャネル		
	授業内容	1. 静止膜電位、活動電位の発生機序について説明できる。 2. 神経細胞(ニューロン)と筋細胞の働きを説明できる。 3. 骨格筋、平滑筋、心筋の働きの特徴について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	金子		
	テーマ	3章 骨格筋の収縮 4章 シナプス伝達		
	授業内容	1. 筋収縮のメカニズムをミクロな構造に基づいて説明できる。 2. 筋収縮のエネルギーについて説明できる。 3. 等尺性収縮と等張性収縮の違いを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	4限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	4章 シナプス伝達		
	授業内容	1. 活動電位が軸索を伝導する仕組みを説明できる。 2. ニューロン間の情報伝達の仕組みについて説明できる。 3. シナプス伝達の機序について説明できる。 4. 興奮性ニューロンと抑制性ニューロンの役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	6章 運動系		
	授業内容	1. 膝蓋腱反射等の基本的な反射を例に取り、神経回路について説明できる。 2. 運動系の働きを説明できる。 3. 運動調節に関わる脳機能について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	8章 脳の統合機能		
	授業内容			

1. 感覚の種類・分類について説明できる。
2. 感覚系の働きを説明できる。
3. 末梢で感知した感覚情報が、中枢に到達し、触覚や痛覚が起こる仕組みについて説明できる。
(予習時間30分、復習時間30分)

9	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	藤原		
	テーマ	5章 自律神経系 8章 脳の統合機能		
	授業内容	1. 交感神経と副交感神経の働きについて具体例をあげて説明できる。 2. 脳と脊髄の働きを説明できる。 3. 思考、記憶、学習、睡眠、覚醒等を起こす神経系について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	金子		
	テーマ	7章 感覚系		
	授業内容	1. 眼球の構造に基づいてその機能を説明できる。 2. 眼における明暗調節と遠近調節について説明できる。 3. 視覚の生じる機構を眼から脳を含めた総体として説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	金子		
	テーマ	7章 感覚系		
	授業内容	1. 聴覚と平衡感覚の生じる機構を内耳から脳を含めた総体として説明できる。 2. 嗅覚と味覚の生じる機構を感覚細胞から脳を含めた総体として説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	山本		
	テーマ	9章 血液		
	授業内容	1. 血液中の細胞成分とその働きについて説明できる。 2. 血漿蛋白質の働きについて説明できる。 3. 酸素と二酸化炭素の運搬について説明できる。 4. ヘモグロビンの構造について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	山本		
	テーマ	9章 血液		
	授業内容	1. 酸素解離曲線について説明できる。 2. 酸素解離曲線に影響する因子について説明できる。 3. 血液凝固機構について説明できる。 4. 不適合輸血について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	山本		
	テーマ	9章 血液		
	授業内容	1. リンパ系の機能を説明できる。 2. 生体防御にかかわる細胞について説明できる。 3. 生体防御にかかわる生理活性物質について説明できる。 4. 免疫系の働きについて説明できる。 5. 抗体の種類を列挙できる。 6. 体液性免疫と細胞性免疫について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

15	年月日(曜日)	令和 7年07月29日(火)	時限	3限
	講義室	C203		
	担当者	藤原・金子・山本		
	テーマ	筋電図の演習 人体の構造と機能演習1(機能系)のまとめ		
	授業内容	1. 筋電図を記録することができる。 2. 筋電図をもとに、筋活動とそれを引き起こす神経活動を説明できる。 3. 「人体の構造と機能演習1(機能系)」で学んだことの要約ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	成績評価：単元ごとの「確認試験」と定期試験期間中の「前期試験」の成績で総合的に評価する。 確認試験：Webclassに各単元の確認試験が毎回10問程度出される。 前期試験：多肢選択問題と記述問題(記述式問題は、Webclassにある過去の試験問題を参照) 不合格者については、追・再試期間中に後期試験と同じ形式の再試験を行う。(再々試験は行わない。)			
教科書	生理学テキスト 第9版 文光堂			
参考書	トートラ人体の構造と機能 第5版(トートラ著、桑木ほか編訳、丸善出版) 基礎運動学 中村隆一他著 医歯薬出版			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 藤原 智徳 e-mail: tfuj@saitama-med.ac.jp 木曜日3、4限 金子 優子 e-mail: yukaneko@saitama-med.ac.jp 火曜日の4、5限目 山本 梓司 e-mail: shinjiy@saitama-med.ac.jp 水曜日12時~13時 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。			
履修上の注意、履修要件	授業前日までに、教科書の該当部分を予習し、授業後に要点を各人のノートにまとめること。 Webclassに単元ごとの確認試験が用意されている。これらを必ず実施し、十分に理解できているか確認する。 学ぶ内容が膨大であるため、なるべく早めに試験対策を行う。			

講義名	人体の構造と機能演習Ⅱ（構造系）		
（副題）	専門基礎分野（人体の構造と機能及び心身の発達）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 時田 幸之輔	理学療法学科教員

担当教員	時田幸之輔・姉帯 沙織・後藤 遼佑・姉帯 飛高
科目の目標	人体の構造と機能についての理解は理学療法分野の学習の基礎となる。形態と構造の学(解剖学)と機能の学(生理学)の伝統をふまえ、同時に人体の形態、構造、機能を相互に関連づけて理解することを目標とする。「人体の構造と機能演習Ⅱ（構造系）」においては主として心臓循環器系、呼吸器系、血液、腎臓を中心とした排出系など植物器官について学習する。さらに、「人体の構造と機能演習Ⅰ（構造系）」での学習を踏まえて、各器官の相互の位置関係(局所解剖学)を理解することを旨とする。動物液浸標本などを用い、演習形式で学習する。
学習の具体的な目標	<p>循環器系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 体循環、肺循環、胎児循環を説明できる。 2) 動脈、静脈、毛細血管、リンパ管、リンパ節の関係を説明できる。 3) 心臓の構造を説明できる。 4) 全身の動脈系と静脈系を説明できる。 5) 循環系を図示し血液の流れを説明できる。 <p>呼吸器系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 気道に属する器官を列挙できる。 2) 気道に属する器官の構造を説明できる。 3) 肺の構造を説明できる。 <p>消化器系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 口から肛門に至るまでの消化管を列挙できる。 2) 消化管・消化腺の構造を説明できる。 <p>泌尿器系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 腎臓の構造について説明できる。 2) 尿路を構成する器官の構造を説明できる。 <p>運動器系の局所解剖学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 四肢帯を構成する骨・筋・神経・脈管について局所解剖学的に説明できる。 2) 四肢を構成する骨・筋・神経・脈管について局所解剖学的に説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	上肢帯・上肢の局所解剖学1		
	授業内容			

上肢帯・上肢を構成する骨・筋・神経・脈管のうち
 ①体幹と上肢帯を結ぶ筋群とその支配神経について局所解剖学的に説明できる
 ②肩甲帯を構成する筋群とその支配神経について局所解剖学的に説明できる
 ③上肢・前腕の伸側を構成する筋群とその支配神経について局所解剖学的に説明できる
 ④上肢帯・上肢の背面に分布する脈管について、その起始・走行経路・分布について説明できる。
 (予習時間30分、復習時間30分)

2	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解6:上肢帯・上肢の局所解剖学1		
	授業内容	1. 上肢帯・上肢において以下の筋・神経・脈管について、その構造物を観察し剖出できる。 2. 剖出された筋、神経、血管等を根拠をあげて同定できる。 3. 剖出した構造物と互いの位置関係を観察し線描にて描画して記録できる。 課題および宿題:スケッチおよび説明 対象構造物 ①体幹と上肢帯を結ぶ筋群とその支配神経 ②肩甲帯を構成する筋群とその支配神経 ③上肢・前腕の伸側を構成する筋群とその支配神経 ④上肢帯・上肢の背面に分布する脈管 グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	上肢帯・上肢の局所解剖学2		
	授業内容	上肢帯・上肢を構成する骨・筋・神経・脈管のうち ①胸筋群とその支配神経について局所解剖学的に説明できる ②上腕屈側を構成する筋群とその支配神経について局所解剖学的に説明できる ③前腕屈側を構成する筋群とその支配神経について局所解剖学的に説明できる ④上肢帯・上肢の腹面に分布する脈管について、その起始・走行経路・分布について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解7:上肢帯・上肢の局所解剖学2		
	授業内容	1. 上肢帯・上肢において以下の筋・神経・脈管について、その構造物を観察し剖出できる。 2. 剖出された筋、神経、血管等を根拠をあげて同定できる。 3. 剖出した構造物と互いの位置関係を観察し、線描にて描画して記録できる。 課題および宿題:スケッチおよび説明 対象構造物 ①胸筋群とその支配神経 ②上腕屈側を構成する筋群とその支配神経 ③前腕屈側を構成する筋群とその支配神経 ④上肢帯・上肢の腹面に分布する脈管 グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	胸壁・腹壁の構成		
	授業内容	①胸壁を構成する骨・筋・神経・脈管について、局所解剖学的に説明できる ②腹壁を構成する骨・筋・神経・脈管について、局所解剖学的に説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解8:胸壁・腹壁の観察		
	授業内容			

1. 胸壁・腹壁を構成する骨・筋・神経・脈管について、その構造物を観察し剖出できる。
 2. 剖出された筋、神経、血管等を根拠をあげて同定できる。
 3. 剖出した構造物と互いの位置関係を観察し、線描にて描画して記録できる。
- 課題および宿題：スケッチおよび説明
グループワークにて行う。
課題についてはフィードバックを行う。
(予習時間30分、復習時間30分)

7	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	局所解剖学と発生学3		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脊髄神経の分節の高低の原則について説明できる。 2. 脊髄神経前枝の背腹の原則について説明できる。 3. 脊髄神経前枝の背腹の原則に従って、四肢の成り立ちについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	胸膜・腹膜の構成		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> ①胸膜・腹膜の構成に説明できる。 ②胸膜・腹膜と胸部内臓・腹部内臓との位置関係を観察し説明できる。 ③胸腔内・腹腔内を走行する神経・脈管と胸膜・腹膜との位置関係を観察し説明できる グループワークにて行う。 課題および宿題：スケッチおよび説明 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解9:胸膜・腹膜の観察		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 胸膜・腹膜について、胸部内臓・腹部内臓との位置関係、胸腔内・腹腔内を走行する神経・脈管と胸膜・腹膜との位置関係を温存した状態で観察し剖出できる。 2. 剖出された胸腹膜・胸腹部内臓・脈管・神経を根拠をあげて同定できる。 3. 剖出した構造物と互いの位置関係を観察し、線描にて描画して記録できる。 課題および宿題：スケッチおよび説明 グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	胸部内臓・腹部内臓原位置での理解		
	授業内容	胸・腹部内臓を構成する循環器系、呼吸器系、消化器系の各臓器について、名称・形態・相互の位置関係を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解10:胸部内臓・腹部内臓原位置での観察		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 胸・腹部内臓を構成する循環器系、呼吸器系、消化器系の各臓器について、相互の位置関係を温存した状態で観察し剖出できる。 2. 剖出された各臓器について、根拠をあげて同定できる。 3. 剖出した構造物と互いの位置関係を観察し、線描にて描画して記録できる。 課題および宿題：スケッチおよび説明 グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	4限
	講義室	301・101・102		

担当者	時田・後藤・姉帯（飛）・姉帯（沙）			
テーマ	胸腹部内臓に分布する自律神経・脈管の理解			
授業内容	胸・腹部内臓に分布する自律神経系・脈管系について、その起始・経路・分布を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
13	年月日（曜日）	令和 7年11月11日（火）	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯（飛）・姉帯（沙）		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解11：胸腹部内臓に分布する自律神経・脈管の観察		
	授業内容	1. 胸・腹部内臓に分布する自律神経系・脈管系について、相互の位置関係を温存した状態で剖出し観察できる。 2. 剖出された構造物について、根拠をあげて同定できる。 3. 剖出した構造物と互いの位置関係を観察し、線描にて描画して記録できる。 課題および宿題：スケッチおよび説明グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年11月11日（火）	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯（飛）・姉帯（沙）		
	テーマ	後胸壁の理解		
	授業内容	後胸壁を構成する肋間動静脈・奇静脈・下行大脈・下大静脈・腎動静脈・総腸骨動脈・臍動脈などの形態と相互の位置関係を説明できる。 腎・泌尿器系を構成する構造部の形態と相互の位置関係を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日（曜日）	令和 7年11月18日（火）	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯（飛）・姉帯（沙）		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解12：後胸壁の観察		
	授業内容	1. 後胸壁を構成する神経系・脈管系について、相互の位置関係を温存した状態で観察し剖出できる。 2. 剖出された構造物について、根拠をあげて同定できる。 3. 剖出した構造物と互いの位置関係を観察し、線描にて描画して記録できる。 課題および宿題：スケッチおよび説明グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 （予習時間30分、復習時間30分）		
16	年月日（曜日）	令和 7年11月18日（火）	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯（飛）・姉帯（沙）		
	テーマ	①泌尿器系の理解 ②膝関節伸筋群と股関節内転筋群とその支配神経の理解 ③腰神経叢の理解		
	授業内容	①腎・泌尿器系を構成する構造部の形態と相互の位置関係を説明できる。 ②膝関節伸筋群・股関節内転筋群の構成とその支配神経の構成・分布について説明できる。 ③腰神経叢を構成する各神経の起始・経路・分布について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
17	年月日（曜日）	令和 7年11月25日（火）	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯（飛）・姉帯（沙）		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解13： ①泌尿器系の観察 ②膝関節伸筋群と股関節内転筋群とその支配神経の観察 ③腰神経叢の観察		
	授業内容			

1. 以下に列挙する構造物について相互の位置関係を温存した状態で観察し剖出できる。
2. 剖出された構造物について、根拠をあげて同定できる。
3. 剖出した構造物と互いの位置関係を観察し、線描にて描画して記録できる。

課題および宿題：スケッチおよび説明

- ①腎・泌尿器系を構成する構造物
- ②膝関節伸筋群・股関節内転筋群とその支配神経
- ③腰神経叢を構成する各神経

グループワークにて行う。

課題についてはフィードバックを行う。

(予習時間30分、復習時間30分)

18	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	①股関節伸筋群・外旋筋群と膝関節屈筋群とその支配神経の理解 ②肺循環(小循環)の理解		
	授業内容	①股関節伸筋群・外旋筋群と膝関節屈筋群の構成とその支配神経の構成・分布について説明できる。 ②肺循環(小循環)を構成する脈管と構造物について、その形態と相互の位置関係及び、血液の流れについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解14 ①股関節伸筋群・外旋筋群と膝関節屈筋群とその支配神経の観察 ②肺循環(小循環)の観察		
	授業内容	1. 以下に列挙する構造物について相互の位置関係を温存した状態で観察し剖出できる。 2. 剖出された構造物について、根拠をあげて同定できる。 3. 剖出した構造物と互いの位置関係を観察し、線描にて描画して記録できる。 課題および宿題：スケッチおよび説明 ①股関節伸筋群・外旋筋群と膝関節屈筋群の構成とその支配神経の構成・分布 ②肺循環(小循環)を構成する脈管と構造物 グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	①骨盤の構成と骨盤内臓の理解 ②消化管血管分布の理解		
	授業内容	①骨盤を構成する骨・靭帯・筋群の形態と相互の位置関係について説明できる。 ②骨盤内臓を構成する各臓器の形態と相互の位置関係を説明できる。 ③消化管に分布する動静脈の起始・走行経路分布について説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解15 ①骨盤の構成と骨盤内臓の観察 ②消化管血管分布の観察		
	授業内容	1. 以下に列挙する構造物について相互の位置関係を温存した状態で観察し剖出できる。 2. 剖出された構造物について、根拠をあげて同定できる。 3. 剖出した構造物と互いの位置関係を観察し、線描にて描画して記録できる。 課題および宿題：スケッチおよび説明 ①骨盤を構成する骨・靭帯・筋群 ②骨盤内臓を構成する各臓器 ③消化管に分布する動静脈の起始・走行経路分布 グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		

テーマ	①仙骨神経叢の理解 ②心臓外景の理解			
授業内容	①仙骨神経叢を構成する各神経の起始・経路・分布について説明できる。 ②心臓に出入りする血管、心臓表面に分布する動静脈について、起始・経路・分布およびその相互の位置関係について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
23	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解16: ①仙骨神経叢の観察 ②心臓外景の観察		
	授業内容	1. 以下に列挙する構造物について相互の位置関係を温存した状態で観察し剖出できる。 2. 剖出された構造物について、根拠をあげて同定できる。 3. 剖出した構造物と互いの位置関係を観察し、線描にて描画して記録できる。 課題および宿題: スケッチおよび説明 ①仙骨神経叢を構成する各神経の起始・経路・分布。 ②心臓に出入りする血管、心臓表面に分布する動静脈について、起始・経路・分布およびその相互の位置関係 グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	①骨盤底の構成とその分布神経の理解 ②心臓内景の理解		
	授業内容	①骨盤底を構成する筋群とその支配神経について説明できる。 ②心房入る静脈の開口部と卵円孔(窩)の相互位置関係について説明できる。 ③房室弁・動脈弁の構成と周辺構造物について説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	動物標本をもとにした解剖学の学習と理解17: ①骨盤底の構成と分布神経の観察 ②心臓内景の観察		
	授業内容	1. 以下に列挙する構造物について相互の位置関係を温存した状態で観察し剖出できる。 2. 剖出された構造物について、根拠をあげて同定できる。 3. 剖出した構造物と互いの位置関係を観察し、線描にて描画して記録できる。 課題および宿題: スケッチおよび説明 ①骨盤底を構成する筋群とその支配神経 ②心房入る静脈の開口部と卵円孔(窩)の相互位置関係 ③房室弁・動脈弁の構成と周辺構造物 グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	観察所見発表1		
	授業内容	1. 観察した観察した標本のうち循環器系・泌尿器系について観察所見を説明できる。 2. 教員からの質問に答えるとともに互いにディスカッションできる。 3. 質疑応答やディスカッションの内容をふまえてスケッチを修正して提出する。 グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
27	年月日(曜日)	令和 8年01月06日(火)	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	観察所見発表2		

授業内容	1. 観察した観察した標本のうち消化器系について観察所見を説明できる。 2. 教員からの質問に答えるとともに互いにディスカッションできる。 3. 質疑応答やディスカッションの内容をふまえてスケッチを修正して提出する。 グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)			
28	年月日(曜日)	令和 8年01月06日(火)	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	観察所見発表3		
	授業内容	1. 観察した観察した標本のうち呼吸器系について観察所見を説明できる。 2. 教員からの質問に答えるとともに互いにディスカッションできる。 3. 質疑応答やディスカッションの内容をふまえてスケッチを修正して提出する。 グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	3限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	局所解剖学と発生学1		
	授業内容	1. 三胚葉と各胚葉に由来する器官を説明できる。 2. 鰓弓動脈の変遷について説明できる。 3. 胎児循環について説明できる。 グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	4限
	講義室	301・101・102		
	担当者	時田・後藤・姉帯(飛)・姉帯(沙)		
	テーマ	局所解剖学と発生学2		
	授業内容	1. 消化管の発生過程について説明できる。 2. 内臓に分布する自律神経の起始、経路、分布について説明できる。 グループワークにて行う。 課題についてはフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 2025年11月8日(土)に中間筆記試験を、2026年1月20日(火)に実物試験および2026年1月23日(金)に期末筆記試験を行う。 2. 中間筆記試験、期末筆記試験、実物試験、授業期間中の課題、それぞれについて60点以上で合格とする。 4. 不合格者については再試験を行う。			
教科書	1. 分担 解剖学1 総説・骨学・靭帯学・筋学、森於菟著、金原出版 2. 分担 解剖学2 脈管学・神経系、平沢興著、金原出版 3. 線描人体解剖学、千葉正司著、考古堂 4. 日本人体解剖学 下巻、金子丑之助他、南山堂			
参考書	実習解剖学 山田到知著、南江堂			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【時田幸之輔】月曜日2限目 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 tokita@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当部分を予習し疑問点等を整理しておくこと。また、授業後には学習内容を整理し次回授業での質問事項をあげておく等復習を怠らないこと。課題は指定された期限内に提出してください。 人体はきわめて多数の構成要素から構成されている。人体のもつ複雑さはこのような構成要素の多さとともに、これら構成要素相互の関係の多様さに起因している。このように複雑な人体の構造を理解するためには多大の時間と労力を要すると考える。予習復習を十分に行うこと、また積極的に質問することを望む。また、身体を実感をともなって立体的なイメージとして理解できるよう、骨格標本の観察、動物標本の供覧、剖出等の機会をできるだけ多くとれるようにする。 <input type="checkbox"/> 疑問点は遠慮なく教官に質問すること。(これは重要) <input type="checkbox"/> 試験前日は対応できないことがあるので、わからないところは早めに質問すること。 入学後に解剖学実習用具を購入していただく			

講義名	人体の構造と機能演習Ⅱ（機能系）		
（副題）	専門基礎分野（人体の構造と機能及び心身の発達）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 藤原 智徳	臨床検査学科教員

担当教員	藤原 智徳・金子 優子・山本 梓司
科目の目標	人体の構造と機能についての理解は理学療法学分野の学習の基礎となる。形態と構造の学（解剖学）と機能の学（生理学）の伝統をふまえ、同時に人体の形態、構造、機能を相互に関連づけて理解することを目標とする。
学習の具体的な目標	<p>内分泌器</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 内分泌器を列挙できる。 2) 視床下部下垂体系の機能を説明できる。 3) 内分泌器のそれぞれのホルモン名と作用を説明できる。 <p>心血管系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 心臓の自律的な収縮と刺激伝導系のはたらきを説明できる。 2) 心電図や心音の成因を心臓の活動との対応で説明できる。 3) 心臓の機能を調節する機構を説明できる。 4) 末梢における血液と細胞間の物質交換を説明できる。 5) 血圧の発生機構と変動、およびその調節について説明できる。 <p>呼吸器系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 気道に属する器官の構造と機能を説明できる。 2) 肺の構造と機能を説明できる。 3) 呼吸を調節する機構を説明できる。 <p>泌尿器系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 腎臓の生理的役割を説明できる。 2) クリアランス値の意味を説明できる。 3) 腎臓による体液調節の仕組みについて説明できる。 <p>消化器系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 各消化器官の機能、およびその調節の機序について説明できる。 2) 消化酵素の作用を説明できる。 3) 栄養素の吸収過程を説明できる。 <p>生殖器系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 性分化の機構を説明できる。 2) 生殖に関するホルモンの作用を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	藤原		

テーマ	14章 内分泌			
授業内容	1. 細胞間情報伝達方式について説明できる。 2. ホルモン名を列挙し、構造的分類をすることができる。 3. 視床下部と下垂体の関連について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
2	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	藤原		
	テーマ	14章 内分泌		
	授業内容	1. 下垂体で分泌されるホルモンの作用について説明できる。 2. 甲状腺で分泌されるホルモンの作用について説明できる。 3. 血漿カルシウム濃度の調節機構について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	藤原		
	テーマ	14章 内分泌		
	授業内容	1. 副腎で産生されるホルモン名を列挙し各々の機能を説明できる。 2. 膵臓の内分泌機能について説明できる。 3. 血糖値の調節機構について説明できる。 4. 体温調節について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月23日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	金子		
	テーマ	10章 心臓		
	授業内容	1. 心臓の自律的収縮機構を説明できる。 2. 心電図測定の概略を説明できる。 3. 心電図や心音についてその成因を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月30日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	金子		
	テーマ	10章 心臓		
	授業内容	1. 心周期について説明できる。 2. 心拍数や心拍出量の調節機構について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	金子		
	テーマ	11章 循環		
	授業内容	1. 末梢における血液と細胞間の物質交換を説明できる。 2. 血圧の発生機構と変動、およびその調節について説明できる。 3. 血圧測定の原理を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	山本		
	テーマ	12章 呼吸		
	授業内容	1. ヒトは何のために呼吸をするかを説明できる。 2. 呼吸運動(吸息と呼息)を引き起こす機構について説明できる。 3. 肺気量の意味と測定の仕方およびスパイログラムの分画を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	2限
	講義室	C302		

担当者	山本			
テーマ	12章 呼吸			
授業内容	1. 肺および組織におけるガス（酸素、二酸化炭素）交換の仕組みを説明できる。 2. 呼吸機能障害を起こす様々な要因を説明できる。 3. 呼吸中枢の役割および呼吸運動を調節する仕組みについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
9	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	藤原		
	テーマ	16章 腎機能		
	授業内容	1. 腎臓の働きについて説明できる。 2. 尿生成の概略について説明できる。 3. 糸球体濾過の機構について説明できる。 4. 腎クリアランスについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	藤原		
	テーマ	16章 腎機能		
	授業内容	1. 近位尿細管における再吸収の機序について説明できる。 2. 集合管での尿生成の仕組みについて説明できる。 3. 排尿反射について説明できる。 4. 内分泌器官としての腎の働きを説明できる （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	藤原		
	テーマ	16章 腎機能		
	授業内容	1. 腎臓による水分と調節の仕組みについて説明できる。 2. 腎臓による体液量調節の仕組みについて説明できる。 3. 腎臓と肺による体液のpH調節の仕組みについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	藤原		
	テーマ	13章 消化と吸収		
	授業内容	1. 消化管機能の調節の仕組みについて説明できる。 2. 消化器系の臓器から分泌される酵素を列挙し、それらの働きについて説明できる。 3. 消化管ホルモンを列挙し、それらの働きについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月18日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	藤原		
	テーマ	13章 消化と吸収		
	授業内容	1. 栄養素の消化と吸収の仕組みについて説明できる。 2. 肝臓と胆汁の働きについて説明できる。 3. 栄養素の代謝について説明できる。 4. エネルギー産生の仕組みについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	藤原		
	テーマ	15章 生殖		
	授業内容			

1. 性の決定と分化について説明できる。 2. 精巣から分泌されるホルモンの働きについて説明できる。 3. 女性性周期に関わるホルモンの働きと変動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
15	年月日(曜日)	令和 8年01月15日(木)	時限	2限
	講義室	B205		
	担当者	藤原・金子・山本		
	テーマ	呼吸器系の演習 人体の構造と機能演習Ⅱ(機能系)のまとめ		
	授業内容	1. スパイロメーターを用いて呼吸器機能の測定ができる。 2. 「人体の構造と機能演習Ⅱ(機能系)」で学んだことの要約ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	成績評価：単元ごとの「確認試験」と定期試験期間中の「後期試験」の成績で総合的に評価する。 確認試験：Webclassに各単元の確認試験が毎回10問程度出される。 後期試験：多肢選択問題と記述問題(記述式問題は、Webclassにある過去の試験問題を参照) 不合格者については、追・再試期間中に後期試験と同じ形式の再試験を行う。(再々試験は行わない。)			
教科書	生理学テキスト 第9版 文光堂			
参考書	トートラ人体の構造と機能 第5版、トートラ著、桑木ほか編訳、丸善出版 基礎運動学 中村隆一他著 医歯薬出版			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 藤原 智徳 e-mail: tfuj@saitama-med.ac.jp 木曜日3、4限 金子 優子 e-mail: yukane@saitama-med.ac.jp 火曜日の4、5限目 山本 梓司 e-mail: shinjiy@saitama-med.ac.jp 水曜日12時～13時 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。			
履修上の注意、履修要件	授業前日までに、教科書の該当部分を予習し、授業後に、要点を各人のノートにまとめること。 Webclassに単元ごとの確認試験が用意されている。これらを必ず実施し、十分に理解できているか確認する。 学ぶ内容が膨大であるため、なるべく早めに試験対策を行う。			

講義名	運動学		
(副題)	専門基礎分野（人体の構造と機能及び心身の発達）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 澤田 豊	理学療法学科教員

担当教員	澤田 豊・新井 智之
科目の目標	ヒトの運動についての基本的な知識と理解を身につけます。ヒトを構成する身体部位および器官（解剖学）、それらの生理的機能（生理学）が運動においてどのように作用、また機能するのかを理解します。運動学はこのあと運動学演習、運動学実習、臨床運動学、運動療法学などの関連する専門基礎科目、専門科目に連携していきます。よって、これらの科目を学ぶ上で基礎となる用語や知識を身につけます。またこれらの知識と理解を用いて、人の基本的な運動と動作について表現・説明出来ることを目標とします。
学習の具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動や動作を物理学的基礎知識を用いて説明できる。 ・ 四肢体幹の基本的な運動を説明できる。 ・ 姿勢について運動学的・運動力学的に説明できる。 ・ 他者の姿勢観察を通し結果を討議できる。 ・ 歩行動作について運動学的・運動力学的に説明できる。 ・ 他者の歩行動作の観察を通し結果を討議できる。 ・ 異常歩行について説明できる。 ・ 運動に関わる運動器、神経系、感覚器の役割を説明できる。 ・ 運動における循環器系の役割について説明できる。 ・ 運動における呼吸器系の役割について説明できる。 ・ 運動と栄養との関連について説明できる。 ・ 身体運動のエネルギー代謝について説明できる。 ・ 運動処方方法について概説できる。 ・ 呼吸循環器系に対する運動の効果（トレーニング効果）について説明できる。 ・ 運動学習とその理論について説明することができる。 ・ 治療場面における運動学習の効果について討議できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	澤田		
	テーマ	ヒトの運動を理解するための物理学的基礎知識		
	授業内容	1. 運動学の概要について説明できる。 2. 運動学的表現に用いる用語について説明できる。 3. 運動力学的表現に用いる用語について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	3限

講義室	C307			
担当者	澤田			
テーマ	運動と動作の観察と分析			
授業内容	1. 運動学的分析について説明できる。 2. 運動力学的分析について説明できる。 3. 運動と動作の観察方法について説明できる。 4. 臨床での動作分析の手順と方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	澤田		
	テーマ	四肢と体幹の運動学 1		
	授業内容	1. 運動面について説明できる。 2. 運動面での四肢の運動を解剖学的、運動学的表現を用いて説明できる。 3. 運動面での体幹の運動を解剖学的、運動学的表現を用いて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	澤田		
	テーマ	四肢と体幹の運動学 2		
	授業内容	1. 運動面について説明できる。 2. 運動面での四肢の運動を解剖学的、運動学的表現を用いて説明できる。 3. 運動面での体幹の運動を解剖学的、運動学的表現を用いて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月03日(月)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	新井		
	テーマ	運動器、神経系の運動学		
	授業内容	1. 運動に関わる運動器(筋・骨・関節)の役割について説明できる。 2. 運動に関わる神経系の機能について説明できる。 3. 随意運動の中核機構について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	新井		
	テーマ	運動と感覚器, 運動と呼吸		
	授業内容	1. 運動に関わる感覚器の機能について説明できる。 2. 呼吸器系の構造と機能について説明できる。 3. 換気・ガス交換・ガス搬送について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	新井		
	テーマ	運動と呼吸, 運動と循環		
	授業内容	1. 循環器系の構造と機能について説明できる。 2. 運動に伴う呼吸・循環応答について説明できる。 3. 循環器系に対するトレーニング効果について説明できる。 4. 呼吸器系に対するトレーニング効果について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	澤田		
	テーマ	姿勢の運動学と運動力学		
	授業内容			

1. 良アライメント（良姿勢）について説明できる。
2. 姿勢維持に関わる神経機構、運動力学について説明できる。
3. 立位姿勢の異常について説明できる。
4. 他者の姿勢観察を通し観察結果について討議することができる。
（予習時間30分、復習時間30分）

9	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	澤田		
	テーマ	歩行の運動学		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歩行周期について説明できる。 2. 歩行の関節運動について説明できる。 3. 歩行の評価（検査・測定）を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	澤田		
	テーマ	歩行の運動力学		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動力学的にヒトの歩行を説明できる。 2. 重力下での姿勢維持や運動と床反力の関係について説明できる。 3. 歩行における関節モーメントとパワーについて説明できる。 4. 歩行のパフォーマンス、運動効率について説明できる。 5. 他者の歩行動作の観察を通し、観察結果を討議することができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	澤田		
	テーマ	応用的な移動方法と歩行の異常		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 階段昇降について説明できる。 2. 走行について説明できる。 3. 異常歩行について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	新井		
	テーマ	酸塩基平衡, 栄養		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 腎臓の機能について説明できる。 2. 酸塩基平衡について説明できる。 3. 運動に関わる栄養素の役割について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月05日(月)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	新井		
	テーマ	運動と栄養, エネルギー代謝		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動と栄養の関連について説明できる。 2. 運動時のエネルギー代謝について説明できる。 3. 身体組成評価と肥満・やせについて説明できる。 4. 生活習慣病に対する運動の効果について概説できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	澤田		
	テーマ	運動学習		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動学習に関わる記憶について説明できる。 2. 運動技能について説明できる。 3. 学習の処理論について説明できる。 4. 運動学習の神経生理学的側面について説明できる。 5. 運動学習の効果について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		

15	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	3限
	講義室	C307		
	担当者	新井		
	テーマ	体力と運動処方		
授業内容	1. 体力について説明できる。 2. 運動処方について説明できる。 3. 運動負荷の設定方法と無酸素性作業閾値(AT)について概説できる。 4. 運動耐容能の評価について概説できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
評価方法	1. 後期定期試験期間に筆記試験を行う。 2. 出席状況や授業態度も加味する。 *再試験は実施するが再々試験は実施しない。			
教科書	1. 基礎運動学. 中村隆一他著 医歯薬出版 *改訂があれば最新版とする。			
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・標準理学療法学 運動療法学総論、吉尾雅春編、医学書院 ・入門運動生理学 勝田茂編、杏林書院 ・運動処方の指針 日本体力医学会体力科学編集委員会、南江堂 ・歩行分析 正常歩行と異常歩行 武田功(監訳)、医歯薬出版 ・姿勢と歩行 強調からひも解く 樋口貴広、三輪書店 ・セラピストのための運動学習ABC 大橋ゆかり著、文光堂 			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【澤田 豊】 火曜日の3, 4限、および金曜日1~4限 上記の時間帯に訪問することが難しい場合には事前にアポイントメントをとること E-mail : ysawada@saitama-med. ac. jp 【新井 智之】 月曜日の3, 4限、水曜日の3, 4限 上記の時間帯に訪問することが難しい場合には事前にアポイントメントをとること E-mail : arai_tm@saitama-med. ac. jp			
履修上の注意、履修要件	教科書の該当ページを予習し授業終了後は復習を怠らないこと。解剖学、生理学の知識や理解を十分にしておくこと。また空き時間を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めること。同時期に開講されている臨床見学実習において、人の姿勢や動作に関わる観察演習が実施され、本科目と内容がリンクする為併せて理解を深めること。			

講義名	人間発達学		
(副題)	専門基礎分野（人体の構造と機能及び心身の発達）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	2限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 金井 欣秀	理学療法学科教員

担当教員	金井 欣秀
科目の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法士に必要な総合的な人間の理解の基礎として、胎児期から出生後の加齢に伴う身体・精神の発達の概要を説明できる。 2. 発達理論を基礎として、各発達段階の特徴と特質を体系的に説明できる。 3. 理学療法を提供するのに必要な一生涯にわたって人間を俯瞰できる視点を得るために成人期から老年期の加齢による身体的・生理的特徴の変化を説明できる。
学習の具体的な目標	<p>本科目では以下の目標を念頭に、教員の講義に基づくディスカッションや発表などの積極的なアウトプットを通じて理解を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 成長・成熟を含んだ発達の一般原則、発達理論の概略について説明できる。 2) 成長・成熟を含んだ発達に関係する因子がどのように発達に影響を与えるかについて説明できる。 3) 生物学的年齢を評価し、身体の成長や成熟について説明できる。 4) 運動機能、反射、姿勢、感覚機能の発達を説明できる。 5) 知能、言語の発達を説明できる。 6) 情緒、思考、社会性などの精神面における発達を説明できる。 7) 成人期から老年期にかけての心身の機能の特徴と推移を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	オリエンテーション・人間発達学概論		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成長・成熟・発達の定義について説明できる。 2. 主要な発達の諸原則について説明できる。 3. 人間発達学の理学療法への応用例を挙げられる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	人間発達学の観点から見るライフステージ		
	授業内容			

1. 胎児期・新生児期から成人期・老年期までの人間発達学的区分について説明できる。
 2. 主要な発達理論について説明できる。
 3. 児童福祉法に基づいた法学的観点から人間のライフステージを区分できる。
 4. 社会的役割における生涯の3ステージ及びマルチステージについて説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	胎児期から老年期までの身体構造の発達 I		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受精から出生にかけての胎児の形態的变化・発達について説明できる。 2. 小児期から成人期にかけての歯・骨の成長に応じた変化について説明できる。 3. 小児期から成人期・老年期にかけての筋肉の成長や加齢変化について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	胎児期から老年期までの身体構造の発達 II		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経年的な姿勢・プロポーションの変化の概要について説明できる。 2. 加齢による姿勢の変化がもたらす身体の二次的障害について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	胎児期から老年期までの身体構造の発達 III		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体の臓器に起こる先天性形成異常について説明できる。 2. 身体の運動器に起こる先天性形成異常について説明できる。 3. 身体の神経系に起こる先天性形成異常について説明できる。 4. 身体の神経系に起こる疾患について列挙できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	乳幼児期の原始反射と姿勢反射/反応		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新生児期・乳児期の原始反射と姿勢反射/反応の出現と消失/統合について説明できる。 2. 新生児期・乳児期の原始反射と姿勢反射/反応で見られる動きを説明できる。 3. 新生児期・乳児期の原始反射と姿勢反射/反応の意義とその後の人間の運動との関係について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	発達のマイルストーン		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達のマイルストーンや理学療法士がそのマイルストーンを見る意義について説明できる。 2. 遠城寺式乳幼児分析的発達検査を理解し、概要を説明することができる。 3. デンバー発達判定法 (Denver Developmental Screening Test Second Edition : Denver II) の概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月18日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	乳児期・幼児期の粗大運動の発達		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新生児・乳児の粗大運動の発達過程の概要について説明できる。 2. 新生児・乳児のおおまかな粗大運動の獲得時期について説明できる。 3. 新生児・乳児が代表的な粗大運動を獲得するメカニズムについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	2限

講義室	運動療法実習室1			
担当者	金井			
テーマ	歩行の発達			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児期の歩行の質の変化について説明できる。 2. 幼児期から老年期までの歩行の変化について説明できる。 3. 歩行周期の名称について説明できる。 4. 異常歩行について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	加齢に伴う現象の出現		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームについて概要を説明できる。 2. フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの関連性について説明できる。 3. ロコモティブシンドロームの判定方法を一部実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	新生児期から老年期までの感覚機能の変化		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児期から成人期・老年期にかけての聴覚機能の発達について説明できる。 2. 言語機能の発達について順序を説明できる。 3. 摂食嚥下機能の発達について説明できる。 4. 嚥下機能の低下による誤嚥のメカニズムについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	上肢機能の発達		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児期から学童期までに習熟する上肢機能について説明できる。 2. 乳幼児期に成熟する手指操作機能の発達の順序性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	情緒・社会性の発達		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の情緒の発達について説明できる。 2. 社会性の発達について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月06日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	社会性の障害		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会性の発達が障害された状態について説明できる。 2. DSM-5に基づく自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害の概要について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	金井		
	テーマ	認知機能の発達・人間発達学のまとめ		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. エリクソン・ピアジェによる発達段階と関連させて認知機能について説明できる。 2. エリクソン・ピアジェによる認知発達段階のそれぞれの時期の特徴について説明できる。 3. これまでに学んだ人間の発達という現象について概要を説明できる。 4. 発達上のつまずきと社会の関連について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験・中間確認テスト・授業内外の課題・授業参加度により評価する。 2. 出席状況、授業態度等を総合的に判断して評価する。
教科書	授業毎に、内容に沿った資料を配付する。
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上田礼子, 障害人間発達学 改定第2版, 三輪書店 2. 大城昌平, 子どもの感覚運動機能の発達と支援 3. 岩崎清隆, 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 人間発達学第2版 4. 上杉雅之, イラストでわかる人間発達学 医歯薬出版 5. 池添冬芽, 高齢者理学療法学 メジカルビュー 6. 大城昌平, リハビリテーションのための人間発達学第3版 メディカルプレス
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。</p> <p>【金井】 火曜日12時10分～13時10分 この時間に訪問できない場合は、事前にメールにてアポイントメントをとること。 メールアドレスは学生便覧参照のこと。</p>
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業前の予習よりも授業後の復習に重きを置くこと。 ・ 授業内で学んだ項目については単なる暗記となりがちであるが、その事象がなぜ起こったのか、その他、経時的に前後の事象とどのように関わるのかを理解すること。 ・ 全15回の時間枠とは別に中間確認テストを実施する。実施日は別途指示する。中間確認テストの追・再試験は実施しない。中間確認テスト欠席者への対応として、評価方法で述べたように複数の指標により成績を評価する。

講義名	栄養学		
(副題)	専門基礎分野（疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
管理栄養士	◎ 伴場 裕巳	臨床検査学科教員

担当教員	伴場 裕巳
科目の目標	医療人として健康の維持増進と疾病の回復を図るための栄養学の基礎を学ぶ。生命維持に必要な五大学養素の生理学的な役割と代謝を理解し、身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の基本的な考え方を習得する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 五大学養素の役割について説明できる。 2) 五大学養素の代謝について説明できる。 3) 栄養の過不足の原因について説明できる。 4) 正しい食事について説明できる。 5) 適正な身体活動について説明できる。 6) リハビリテーションにおける栄養補給の意義を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	健康と栄養：食物と栄養素の役割		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養と栄養素の定義を説明できる。 2. 三大学養素と五大学養素について説明できる。 3. アトウォーター係数について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	糖質の栄養		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 糖質の消化・吸収について説明できる。 2. 糖質からのエネルギー産生について説明できる。 3. エネルギー源以外の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	1限

講義室	C203			
担当者	伴場			
テーマ	脂質の栄養			
授業内容	1. 脂質の消化・吸収について説明できる。 2. 脂質からのエネルギー産生について説明できる。 3. 体構成成分としての脂質の役割について説明できる。 4. 脂肪の摂取の仕方について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	タンパク質の栄養		
	授業内容	1. タンパク質の消化・吸収について説明できる。 2. アミノ酸からのエネルギー産生について説明できる。 3. 必須アミノ酸の意義について説明できる。 4. 摂取タンパク質の栄養評価について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	ビタミンの栄養		
	授業内容	1. エネルギー代謝における水溶性ビタミンについて説明できる。 2. 体内調節因子としての脂溶性ビタミンについて説明できる。 3. 各ビタミンの欠乏症について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	無機質の栄養と水代謝		
	授業内容	1. 体の構成成分としての無機質について説明できる。 2. 無機質による生体機能調節について説明できる。 3. 水分の代謝について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	エネルギー代謝と日本人の食事摂取基準		
	授業内容	1. エネルギー代謝の概要を説明できる。 2. 食事誘発性体熱産生について説明できる。 3. エネルギーおよび栄養素の指標について説明できる。 4. 必要なエネルギーおよび栄養素の量について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	1限
	講義室	C203		
	担当者	伴場		
	テーマ	リハビリテーションと栄養		
	授業内容	1. 栄養状態の評価について説明できる。 2. 栄養と健康維持・増進および疾病治療・予防について説明できる。 3. リハビリテーションにおける栄養補給の意義を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 6月12日(木)1限に期末試験(正誤問題、多肢選択式問題、論述式問題等)を行う。 2. 6月12日(木)1限に実施する期末試験の成績で評価する。 3. 試験内容は講義内容全範囲。 4. 上記期末試験不合格者に対しては再試験を行う。 5. 再試験は1回のみ行う。			
教科書	リハベーシック 生化学・栄養学 第2版 内山 靖、藤井浩美、立石雅子 編、医歯薬出版			

参考書	1. 栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学 第5版 田地陽一編、羊土社 2. Crosslink basic リハビリテーションテキスト 栄養学・生化学 吉村芳弘 編、メジカルビュー社 * その他、授業中に適宜提示する。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 木曜日の12:10~13:10 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-mail : bam@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当部分を予習し、授業中に理解するように努め、疑問点は教員に質問すること。 受講後は、授業の内容が理解できたかどうか、WebClassに挙げられている確認問題で復習すること。 復習した知識が定着したかどうか毎回実施する小テストで確認すること。 小テストに対するフィードバックは解説を示す。 解説を参考に、理解不足の解消に努めること。

講義名	リハビリテーション医学		
(副題)	専門基礎分野（保健医療福祉とリハビリテーションの理念）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
医師	◎ 池田 将樹	共通教育部門教員

担当教員	池田 将樹・高倉 保幸・高橋 秀寿・小関 要作
科目の目標	リハビリテーション専門職は、自己のみではなくリハビリテーション医学全般の諸知識について理解を深める必要がある。具体的には、リハビリテーションの主要な対象疾患について理解し、リハビリテーションにおけるチーム医療に必要な基本的な考え方の初歩を習得する。適宜グループワークを行う。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) リハビリテーションの概要を説明できる。 2) 障害について概要を説明できる。 3) 急性期から回復期、生活期までのリハビリテーションの流れについて概要を説明できる。 4) 骨関節疾患のリハビリテーションの概要を説明できる。 5) 脊髄障害の概要を説明できる。 6) 褥瘡に対する概要を説明できる。 7) 内部障害の概要を説明できる。 8) 脳血管障害の概要を説明できる。 9) 高次脳機能障害の概要を説明できる。 10) 摂食嚥下障害の概要を説明できる。 11) 小児の概要を説明できる。 12) 切断の概要を説明できる。 13) ADL評価の概要を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	高倉		
	テーマ	リハビリテーションとは		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーションの歴史が説明できる。 2. リハビリテーションの種類が説明できる。 3. リハビリテーションに関わる職種を列挙できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	高倉		

テーマ	障害とは			
授業内容	1. 障害の定義を説明できる。 2. 障害モデルを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	高倉		
	テーマ	リハビリテーションの流れ1		
	授業内容	1. 急性期リハビリテーションから回復期リハビリテーションへの流れを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	高倉		
	テーマ	リハビリテーションの流れ2		
	授業内容	1. 回復期リハビリテーションから生活期(維持期)リハビリテーションの流れを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	池田		
	テーマ	脊髄障害のリハビリテーション		
	授業内容	1. 脊髄損傷の概要を説明できる。 2. 脊髄損傷のリハビリテーションの概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	高倉		
	テーマ	骨関節疾患のリハビリテーション		
	授業内容	1. 骨関節疾患の障害の概要を説明できる。 2. 骨関節疾患のリハビリテーションの概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	池田		
	テーマ	褥瘡の発生とリハビリテーション		
	授業内容	1. 褥瘡の概要を説明できる。 2. 褥瘡に対するリハビリテーションの概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	池田		
	テーマ	内部障害のリハビリテーション		
	授業内容	1. 内部障害の概要を説明できる。 2. 内部障害のリハビリテーションの概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	池田		
	テーマ	脳血管障害のリハビリテーション		
	授業内容	1. 脳血管障害の概要を説明できる。 2. 脳血管障害のリハビリテーションの概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	4限

講義室	C302			
担当者	池田			
テーマ	高次脳機能障害のリハビリテーション			
授業内容	1. 高次脳機能の概要を説明できる。 2. 高次脳機能のリハビリテーションの概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 8年01月05日(月)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	池田		
	テーマ	摂食嚥下障害のリハビリテーション		
	授業内容	1. 摂食嚥下障害の概要を説明できる。 2. 摂食嚥下障害のリハビリテーションの概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	高橋		
	テーマ	小児のリハビリテーション		
	授業内容	1. 小児の障害の概要を説明できる。 2. 小児のリハビリテーションの概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	小関		
	テーマ	切断のリハビリテーション		
	授業内容	1. 切断の概要を説明できる。 2. 切断のリハビリテーションの概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	高橋		
	テーマ	ADL評価		
	授業内容	1. ADL評価のポイントを説明できる。 2. FIM(機能的自立度評価表)の方法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	高倉		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 総論から各論をつなげて典型的な事例に対するリハビリテーションを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 後期定期試験期間に筆記試験を行う。 2. 出席点や授業態度、小テスト・レポートを含めて総合的に判定する。 3. 不合格者には再試験を行う。			
教科書	1. わかりやすいリハビリテーション、岡島康友編、中山書店 2. 神経疾患のリハビリテーション第1版、和田直樹編・江藤文夫監修、南山堂			
参考書	1. 標準リハビリテーション医学第4版、上田敏・伊藤利之監修、医学書院 2. 入門リハビリテーション概論第7版増補、中村隆一・佐直信彦編、医歯薬出版 3. 入門リハビリテーション医学第3版、中村隆一監修、医歯薬出版			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【担当教員共通】 火曜日12:00~13:10 上記時間帯に訪問することが難しい場合には、事前にアポイントメントをとること。 【池田将樹】E-mail: m_ikeda@saitama-med.ac.jp 【高倉保幸】E-mail: takakura@saitama-med.ac.jp			

	【高橋秀寿】E-mail: taka1959@saitama-med.ac.jp 【小関要作】E-mail: y_koseki@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めることを心掛けてください。

講義名	公衆衛生学		
(副題)	専門基礎分野（保健医療福祉とリハビリテーションの理念）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 与五沢 真吾	臨床検査学科教員

担当教員	与五沢真吾・山賀 貴
科目の目標	公衆衛生学・予防医学の概念と方法を理解し、また現状の問題点を把握する。さらに将来医療従事者として公衆衛生の向上、予防医学活動を実践するために必要な知識と国家試験に対応するための十分な知識を身に付ける。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 用語の定義を正確に述べることができる。 2) 発生原因を列挙できる。 3) 機序や病態を説明できる。 4) 管理の実際について具体的に説明できる。 5) 予防法を具体的に述べることができる。 6) 関連する法規を列挙し、その内容を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月02日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	与五沢		
	テーマ	公衆衛生学序論-公衆衛生と予防医学-		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生学の考え方と目的を説明できる。 2. 一次・二次・三次予防について説明できる。 3. プライマリヘルスケアについて説明できる。 4. ヘルスプロモーションについて説明できる。 5. 生命倫理と保健医療福祉の倫理について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	与五沢		
	テーマ	環境保健-1		
	授業内容			

1. 公害（四大公害）と日本の環境行政について説明できる。
 2. 慢性ヒ素中毒症、アスベスト問題について説明できる。
 3. 環境基本法、環境基準について説明できる。
 4. 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染について説明できる。
- （予習時間30分、復習時間30分）

3	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	与五沢		
	テーマ	環境保健-2		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上水道・下水道について説明できる。 2. 廃棄物処理について説明できる。 3. 化学物質過敏症、シックハウス症候群について説明できる。 4. 地球規模で起こっている環境問題について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	与五沢		
	テーマ	産業保健		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 産業保健に関する主要法規について説明できる。 2. 労働衛生管理について説明できる。 3. 職場のメンタルヘルスクエアについて説明できる。 4. トータル・ヘルスプロモーション・プランについて説明できる。 5. 労働者の健康状況・労働災害について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	山賀		
	テーマ	物理環境・職業性疾病		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 気圧による障害について説明できる。 2. 熱中症について説明できる。 3. 放射線障害について説明できる。 4. 振動障害、騒音障害について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	1限
	講義室	C302		
	担当者	与五沢		
	テーマ	人口静態統計		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 世界人口の推移について説明できる。 2. 国勢調査について説明できる。 3. 日本の人口構造の推移について説明できる。 4. 人口ピラミッドについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月13日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	山賀		
	テーマ	人口動態統計		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人口動態統計の調査法や内容について説明できる。 2. 出生について説明できる。 3. 死亡について説明できる。 4. 生命表について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	山賀		
	テーマ	人口動態統計-2、傷病統計		
	授業内容			

1. 死因統計について説明できる。
 2. 主要死因の推移と現状について説明できる。
 3. 死産・周産期死亡・乳児死亡・妊産婦死亡について説明できる。
 4. 傷病統計について説明できる。
 5. 国民生活基礎調査について説明できる。
 6. 患者調査について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

9	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	与五沢		
	テーマ	成人保健・高齢者保健・介護保険		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活習慣病・メタボリックシンドローム予防の意義について説明できる。 2. 高齢者保健について説明できる。 3. 介護保険について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	与五沢		
	テーマ	母子保健		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母子保健指標の定義・意味を説明できる。 2. 母子保健の現状と動向について説明できる。 3. 母子保健指標から明らかになった現状の問題点について説明できる。 4. 母子保健活動における行政の役割と母子保健対策について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月11日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	与五沢		
	テーマ	学校保健・精神保健		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学齢期児童の健康状況について説明できる。 2. 学校保健の組織・量影について説明できる。 3. 健康診断をはじめとする学校保健管理について説明できる。 4. 精神保健の現状と問題点について説明できる。 5. 精神保健福祉活動における医療従事者と地域の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 8年01月05日(月)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	与五沢		
	テーマ	感染症・食中毒		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染様式について説明できる。 2. 感染症法における類別について説明できる。 3. 院内感染対策について説明できる。 4. 予防接種について説明できる。 5. 食中毒の分類、予防法について説明できる。 6. 食中毒に関する各種統計について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	与五沢		
	テーマ	わが国の医療制度		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療保険制度について説明できる。 2. 医療法に基づく医療施設について説明できる。 3. 医療計画について説明できる。 4. 国民医療費の現状について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	山賀		
	テーマ	地域保健		

授業内容	1. 地域保健・地域医療と医療従事者の役割について説明できる。 2. 地域保健活動と行政の役割について説明できる。 3. 地域における保健・医療・福祉活動の連携について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
15	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	与五沢		
	テーマ	国際保健		
	授業内容	1. 国際保健医療協力の仕組みについて説明できる。 2. 国際保健の現状と問題点について説明できる。 3. 国際保健の今後の課題について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験期間に行う筆記試験、出席状況にて総合的に評価する。また、試験不合格者は、再試験を実施する。			
教科書	1. 公衆衛生学、安達修一 編著、三共出版 2. 国民衛生の動向、厚生労働統計協会、厚生労働統計協会			
参考書	1. 公衆衛生がみえる 最新版、医療情報科学研究所編、メディックメディア			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【与五沢】 火曜日 9:00-10:00、16:30-18:00 上記時間帯以外で面接を希望する者は、メールにてアポイントメントをとること。 連絡先については学生便覧参照のこと。			
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めることを心掛けてください。			

講義名	理学療法学科概論		
(副題)	専門分野（基礎理学療法学科）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	火曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年通年		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 大久保 雄	理学療法学科教員

担当教員	大久保 雄・新井 智之・高倉 保幸・赤坂 清和・時田幸之輔・森田 泰裕・三浦 佳代・甘利 貴志・飛田 和基
科目の目標	我が国においては1965年（昭和40年）に理学療法士制度が誕生し、この間、理学療法は実践医療の中でその領域が拡大してきたが、現在では大学教育を中心とする流れの中、保健・医療・福祉の各分野において科学的根拠の下に展開されている。本科目では、世界および日本の理学療法の歴史と社会的意義の変遷、理学療法倫理規定、理学療法専門領域および理学療法教育の現状、職域の拡大とキャリアパスについて概説する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 討議を通して自己の理学療法士に対する志望動機と、理想とする理学療法士像について説明できる。（グループ討論） 2) 理学療法の歴史と理学療法士制度について説明できる。（講義） 3) 高齢化社会における理学療法士の役割について説明できる。（講義） 4) 世界の理学療法手技の概要について説明できる。（講義） 5) 理学療法士の法律制度について説明できる。（講義） 6) 理学療法士の倫理規定について説明できる。（講義） 7) 理学療法の業務の多様性について説明できる。（講義） 8) 多職種との業務連携の概要について説明できる。（講義） 9) 理学療法学の独自性と学際性について説明できる。（講義） 10) 根拠に基づく理学療法（EBPT）の実践について説明できる。（講義） 11) 課題解決型学習によるグループワークと発表を通して理学療法士業務中の課題に対する具体的な対応法について説明できる。（グループ討論、プレゼンテーション） 12) 臨床見学実習の目的と概要について説明できる。（講義）

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	大久保		
	テーマ	コース概要、自己紹介、理想の理学療法士像		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コース概要説明 2. 理想の理学療法士像について意見交換を行い、互いの理想像を共有する。（予習時間30分、復習時間30分） 		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	2限
	講義室	C306		

担当者	大久保			
テーマ	理学療法士としての倫理感			
授業内容	理学療法倫理規定について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	2限
	講義室	C306		
	担当者	高倉		
	テーマ	世界の理学療法の誕生から現在まで		
	授業内容	世界の理学療法の誕生から現在まで、また日本の理学療法教育の歴史と変遷について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	2限
	講義室	C306		
	担当者	高倉		
	テーマ	公衆衛生と理学療法		
	授業内容	公衆衛生と理学療法の関係について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	2限
	講義室	C306		
	担当者	新井・森田・三浦		
	テーマ	高齢化社会における理学療法士の役割(1)		
	授業内容	高齢化社会における現状と課題について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	2限
	講義室	C306		
	担当者	新井・森田・三浦		
	テーマ	高齢化社会における理学療法士の役割(2)		
	授業内容	高齢化社会における新たな理学療法士の役割について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	2限
	講義室	C306		
	担当者	森田・新井・三浦		
	テーマ	理学療法業務の多様性		
	授業内容	理学療法業務の多様性とそのキャリアパスについて概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	2限
	講義室	C306		
	担当者	森田・新井・三浦		
	テーマ	多職種間の業務連携		
	授業内容	多職種間の業務連携と専門職連携教育(IPE)の重要性について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	2限
	講義室	C306		
	担当者	赤坂		
	テーマ	世界の理学療法(1)		
	授業内容	世界で行われている徒手理学療法について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	2限
	講義室	C306		
	担当者	赤坂		

テーマ	世界の理学療法(2)			
授業内容	日本で行われている徒手理学療法について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	大久保		
	テーマ	理学療法士の報酬		
	授業内容	理学療法士の診療報酬制度について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	2限
	講義室	C306		
	担当者	大久保		
	テーマ	理学療法士と心理的対応		
	授業内容	理学療法に伴う心理的対応について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	1限
	講義室	C306		
	担当者	大久保		
	テーマ	理学療法士の法律制度		
	授業内容	理学療法士及び作業療法士法について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	2限
	講義室	C306		
	担当者	大久保		
	テーマ	国際生活機能分類(ICF)の概要		
	授業内容	国際生活機能分類(ICF)の概要と理学療法との関連について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	2限
	講義室	C306		
	担当者	新井・飛田・甘利		
	テーマ	理学療法学の独自性と学際性		
	授業内容	理学療法学の独自性と学際性について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	2限
	講義室	C306		
	担当者	新井・飛田・甘利		
	テーマ	根拠に基づく理学療法(EBPT)		
	授業内容	根拠に基づく理学療法(EBPT)について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
17	年月日(曜日)	令和 7年07月29日(火)	時限	2限
	講義室	C306		
	担当者	時田・三浦		
	テーマ	臨床における理学療法の実践		
	授業内容	臨床における理学療法の実践について概説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保		
	テーマ	理学療法の対象と治療(1)		

授業内容		理学療法の対象と治療について具体例を挙げて説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保		
	テーマ	理学療法の対象と治療(2)		
授業内容	理学療法の対象と治療について具体例を挙げて説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)			
20	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保		
	テーマ	理学療法の対象と治療(3)		
授業内容	理学療法の対象と治療について具体例を挙げて説明する。 (予習時間30分、復習時間30分)			
21	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保		
	テーマ	グループディスカッション(1)		
授業内容	理学療法の対象と治療についてグループ毎にディスカッションを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)			
22	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保		
	テーマ	グループディスカッション(2)		
授業内容	理学療法の対象と治療についてグループ毎にディスカッションを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)			
23	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保		
	テーマ	グループディスカッション(3)		
授業内容	理学療法の対象と治療についてグループ毎にディスカッションを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)			
24	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保		
	テーマ	グループディスカッション(4)		
授業内容	理学療法の対象と治療についてグループ毎にディスカッションを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)			
25	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	1限
	講義室	川角301		
	担当者	時田・三浦		
	テーマ	臨床見学実習事前演習(1)		
授業内容	臨床見学実習の事前演習を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)			
26	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	1限
	講義室	川角301		
	担当者	時田・三浦		
	テーマ	臨床見学実習事前演習(2)		
授業内容	臨床見学実習の事前演習を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)			

27	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	1限
	講義室	川角301		
	担当者	時田・三浦		
	テーマ	臨床見学実習事前演習(3)		
	授業内容	臨床見学実習の事前演習を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	1限
	講義室	川角301		
	担当者	時田・三浦		
	テーマ	臨床見学実習事前演習(4)		
	授業内容	臨床見学実習の事前演習を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 8年01月06日(火)	時限	1限
	講義室	川角301		
	担当者	時田・三浦		
	テーマ	臨床見学実習事前演習(5)		
	授業内容	臨床見学実習の事前演習を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	1限
	講義室	川角301		
	担当者	時田・三浦		
	テーマ	臨床見学実習事前演習(6)		
	授業内容	臨床見学実習の事前演習を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験(前期50%)、授業態度(ディスカッションへの参加と発表内容)(40%)、出席(10%)で評価する。追・再試験は1回まで実施する。 2. 1年後期必修科目「臨床見学実習」に参加するためには25回～30回「臨床見学実習事前演習(1)～(6)」に全て出席することが必要である。			
教科書	1. 理学療法概論(第7版) 奈良勲編著、医歯薬出版			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【大久保雄】 ・水曜日3限目 ・上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-Mail : yokubo@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して参考資料の確認を行い、学習内容を深めること。 グループワークに積極的に参加すること。レポートは指定された期間内に指定された場所へ提出すること。			

講義名	理学療法評価学入門		
(副題)	専門分野（理学療法評価学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 森田 泰裕	理学療法学科教員

担当教員	森田 泰裕・新井 智之・澤田 豊・三浦 佳代・服部 寛・飛田 和基・甘利 貴志・山崎雄一郎・西元 淳司・久喜 啓誉・神林 宏太
科目の目標	理学療法を実施するにあたっては、まず対象者の病態や障害の現状を把握すると共に、社会的な背景も含めて、全体像を把握することが必要である。本科目では、理学療法評価を行う上で基盤となる医療面接の手法、バイタルサインの測定や視診・触診、身体計測の方法について学習する。
学習の具体的な目標	講義、実技演習、グループワーク、ディスカッションを通して、以下の学習目標を修得する 1. バイタルサインを適切に測定できる 2. 痛みの基礎知識を説明でき、痛みの原因を評価できる 3. 運動器の病態生理と損傷された組織の修復過程を説明できる 4. 体幹・四肢の触診の知識について説明でき、触診ができる 5. 身体のランドマークを触診し、身体の形状を計測できる 6. 四肢・体幹の関節可動域の測定ができる

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森田・三浦・飛田・甘利		
	テーマ	バイタルサイン・医療面接		
	授業内容	1. 脈拍を適切に測定できる 2. 血圧を適切に測定できる 3. 酸素飽和度を適切に測定できる 4. 呼吸数を適切に測定できる 5. 意識を適切に測定できる 6. 模擬患者の医学的・社会的情報を聴取できる (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森田・三浦・飛田・甘利		
	テーマ	バイタルサイン・医療面接		
	授業内容			

1. 脈拍を適切に測定できる
2. 血圧を適切に測定できる
3. 酸素飽和度を適切に測定できる
4. 呼吸数を適切に測定できる
5. 意識を適切に測定できる
6. 模擬患者の医学的・社会的情報を聴取できる
(予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	飛田・甘利・三浦・森田		
	テーマ	バイタルサイン・医療面接		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脈拍を適切に測定できる 2. 血圧を適切に測定できる 3. 酸素飽和度を適切に測定できる 4. 呼吸数を適切に測定できる 5. 意識を適切に測定できる 6. 模擬患者の医学的・社会的情報を聴取できる (予習時間30分、復習時間30分) 		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	飛田・甘利・三浦・森田		
	テーマ	バイタルサイン・医療面接		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脈拍を適切に測定できる 2. 血圧を適切に測定できる 3. 酸素飽和度を適切に測定できる 4. 呼吸数を適切に測定できる 5. 意識を適切に測定できる 6. 模擬患者の医学的・社会的情報を聴取できる (予習時間30分、復習時間30分) 		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	澤田・森田		
	テーマ	関節可動域制限・拘縮の基礎知識と理学療法評価		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関節可動域制限の原因について説明できる 2. 拘縮の発生メカニズムについて説明できる 3. 関節を構成する骨や軟骨の病態と修復過程について説明できる 4. 関節可動域制限や拘縮の評価を実施できる (予習時間30分、復習時間30分) 		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	澤田・森田		
	テーマ	関節可動域制限・拘縮の基礎知識と理学療法評価		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関節可動域制限の原因について説明できる 2. 拘縮の発生メカニズムについて説明できる 3. 関節を構成する骨や軟骨の病態と修復過程について説明できる 4. 関節可動域制限や拘縮の評価を実施できる (予習時間30分、復習時間30分) 		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	服部・森田・飛田・甘利		
	テーマ	体幹前面・後面の触診に関する基礎知識と技術		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体表からみた解剖学的構造(骨、靭帯、腱、筋、神経および血管)を説明できる 2. 体表からみた解剖学的構造(骨、靭帯、腱、筋、神経および血管)を触診にて捉えることができる (予習時間30分、復習時間30分) 		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	服部・森田・飛田・甘利		
	テーマ	体幹前面・後面の触診に関する基礎知識と技術		

授業内容		1. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を説明できる 2. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を触診にて捉えることができる （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	服部・森田・飛田・甘利		
	テーマ	体幹前面・後面の触診に関する基礎知識と技術		
	授業内容	1. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を説明できる 2. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を触診にて捉えることができる （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	服部・森田・飛田・甘利		
	テーマ	上腕・前腕の触診に関する基礎知識と技術		
	授業内容	1. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を説明できる 2. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を触診にて捉えることができる （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	服部・森田・飛田・甘利		
	テーマ	上腕・前腕の触診に関する基礎知識と技術		
	授業内容	1. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を説明できる 2. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を触診にて捉えることができる （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	服部・森田・飛田・甘利		
	テーマ	上腕・前腕の触診に関する基礎知識と技術		
	授業内容	1. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を説明できる 2. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を触診にて捉えることができる （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	服部・森田・飛田・甘利		
	テーマ	大腿の触診に関する基礎知識と技術		
	授業内容	1. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を説明できる 2. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を触診にて捉えることができる （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	服部・森田・飛田・甘利		
	テーマ	大腿の触診に関する基礎知識と技術		
	授業内容	1. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を説明できる 2. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を触診にて捉えることができる （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	服部・森田・飛田・甘利		
	テーマ	下腿の触診に関する基礎知識と技術		
	授業内容	1. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を説明できる 2. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を触診にて捉えることができる （予習時間30分、復習時間30分）		
16	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	2限
	授業内容	1. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を説明できる 2. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を触診にて捉えることができる （予習時間30分、復習時間30分）		

講義室	運動療法実習室2			
担当者	服部・森田・飛田・甘利			
テーマ	下腿の触診に関する基礎知識と技術			
授業内容	1. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を説明できる 2. 体表からみた解剖学的構造（骨、靭帯、腱、筋、神経および血管）を触診にて捉えることができる （予習時間30分、復習時間30分）			
17	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森田・新井・三浦・飛田・甘利・山崎・久喜		
	テーマ	身体計測		
	授業内容	1. ランドマークを適切に触診できる 2. 四肢長を適切に測定できる 3. 周径を適切に測定できる （予習時間30分、復習時間30分）		
18	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森田・新井・三浦・飛田・甘利・山崎・久喜		
	テーマ	身体計測		
	授業内容	1. ランドマークを適切に触診できる 2. 四肢長を適切に測定できる 3. 周径を適切に測定できる （予習時間30分、復習時間30分）		
19	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森田・新井・三浦・飛田・甘利・西元・神林		
	テーマ	身体計測		
	授業内容	1. ランドマークを適切に触診できる 2. 四肢長を適切に測定できる 3. 周径を適切に測定できる （予習時間30分、復習時間30分）		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森田・新井・三浦・飛田・甘利・西元・神林		
	テーマ	身体計測		
	授業内容	1. ランドマークを適切に触診できる 2. 四肢長を適切に測定できる 3. 周径を適切に測定できる （予習時間30分、復習時間30分）		
21	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森田・新井・澤田・三浦・飛田・甘利・山崎・久喜		
	テーマ	下肢の関節可動域測定		
	授業内容	1. 下肢（股関節・膝関節・足関節）の関節可動域測定の方法、注意点を説明できる 2. 下肢（股関節・膝関節・足関節）の関節可動域測定を実施できる （予習時間30分、復習時間30分）		
22	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森田・新井・澤田・三浦・飛田・甘利・山崎・久喜		
	テーマ	下肢の関節可動域測定		
	授業内容	1. 下肢（股関節・膝関節・足関節）の関節可動域測定の方法、注意点を説明できる 2. 下肢（股関節・膝関節・足関節）の関節可動域測定を実施できる （予習時間30分、復習時間30分）		
23	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		

担当者	森田・新井・澤田・三浦・飛田・甘利・西元・神林			
テーマ	下肢の関節可動域測定			
授業内容	1. 下肢（股関節・膝関節・足関節）の関節可動域測定の方法、注意点を説明できる 2. 下肢（股関節・膝関節・足関節）の関節可動域測定を実施できる （予習時間30分、復習時間30分）			
24	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森田・新井・澤田・三浦・飛田・甘利・西元・神林		
	テーマ	下肢の関節可動域測定		
	授業内容	1. 下肢（股関節・膝関節・足関節）の関節可動域測定の方法、注意点を説明できる 2. 下肢（股関節・膝関節・足関節）の関節可動域測定を実施できる （予習時間30分、復習時間30分）		
25	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森田・新井・澤田・三浦・飛田・甘利・山崎・久喜		
	テーマ	上肢・体幹・頸部の関節可動域測定		
	授業内容	1. 上肢、体幹、頸部の関節可動域測定の方法、注意点を説明できる 2. 上肢、体幹、頸部の関節可動域測定を実施できる （予習時間30分、復習時間30分）		
26	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森田・新井・澤田・三浦・飛田・甘利・山崎・久喜		
	テーマ	上肢・体幹・頸部の関節可動域測定		
	授業内容	1. 上肢、体幹、頸部の関節可動域測定の方法、注意点を説明できる 2. 上肢、体幹、頸部の関節可動域測定を実施できる （予習時間30分、復習時間30分）		
27	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森田・新井・澤田・三浦・飛田・甘利・西元・神林		
	テーマ	上肢・体幹・頸部の関節可動域測定		
	授業内容	1. 上肢、体幹、頸部の関節可動域測定の方法、注意点を説明できる 2. 上肢、体幹、頸部の関節可動域測定を実施できる （予習時間30分、復習時間30分）		
28	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	森田・新井・澤田・三浦・飛田・甘利・西元・神林		
	テーマ	上肢・体幹・頸部の関節可動域測定		
	授業内容	1. 上肢、体幹、頸部の関節可動域測定の方法、注意点を説明できる 2. 上肢、体幹、頸部の関節可動域測定を実施できる （予習時間30分、復習時間30分）		
29	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	1限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	澤田・森田		
	テーマ	運動器の再生メカニズムと痛みの基礎知識と理学療法評価		
	授業内容	1. 損傷を受けた組織の一般的な修復過程を説明できる 2. 運動器の病態生理および修復過程に説明できる 3. 一般的な痛みおよび関節痛の発生原因と病態生理を説明できる 4. 痛みの評価を実施できる （予習時間30分、復習時間30分）		
30	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	2限
	講義室	運動療法実習室2		
	担当者	澤田・森田		
	テーマ	運動器の再生メカニズムと痛みの基礎知識と理学療法評価		

授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 損傷を受けた組織の一般的な修復過程を説明できる 2. 運動器の病態生理および修復過程に説明できる 3. 一般的な痛みおよび関節痛の発生原因と病態生理を説明できる 4. 痛みの評価を実施できる <p>(予習時間30分、復習時間30分)</p>
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験(筆記試験)、出席状況、授業態度、授業内で行う小テスト(実技試験)から総合点を算出し、評価する。実技試験は、評価項目ごとに授業の中で実施する。筆記試験は後期定期試験期間に実施する。 2. 欠席・遅刻・早退については状況に応じて総合点より減点する。 3. 不合格者に対しては再試験を行う。再試験は原則として1回のみとする。
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 標準理学療法学専門分野 理学療法評価学 第3版、医学書院 2. 改訂第2版 骨格筋の形と触察法、大峰閣
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新・徒手筋力検査法 原著第10版、Dale Avers, Marybeth Brown 著、津山直一、中村耕三 訳、協同医書出版社 2. ベッドサイドの神経の診かた、田崎義昭他著、南山堂
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【森田 泰裕(科目責任者)】 毎週月曜日13時30分～17時30分。上記の時間帯に訪問が難しい場合には事前にアポイントメントをとること。 Email: moritay@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業前日には教科書の該当部分を予習し、教科書で実習内容の意味を理解しておくこと。 ・ 服装は、原則としてユニフォームのこと。別途指示ある場合は、それに従うこと。 <p>(予習時間30分、復習時間30分)</p>

講義名	臨床見学実習		
(副題)	専門分野（臨床実習）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	1	時間	45.00
代表曜日		代表時限	
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 國澤 洋介	理学療法学科教員

担当教員	國澤 洋介・高倉 保幸・赤坂 清和・新井 智之・大久保 雄・金井 欣秀・小関 要作・澤田 豊・時田幸之輔・森田 泰裕・師岡 祐輔・三浦 佳代・姉帯 沙織・清水 夏生・飛田 和基・服部 寛・甘利 貴志
科目の目標	理学療法を学ぼうとする学生は、各施設の中で理学療法士がどのように位置づけられているのかを臨場感を持って理解することが重要である。臨床見学実習においては、理学療法やリハビリテーション医療が行われる病院や施設において、リハビリテーションチームの一員としての理学療法士の役割と責任を理解し、行動すること及び対象者とのより良い人間関係の構築を目標とする。
学習の具体的な目標	実習を通して以下の学習目標を修得する。 ①各施設における理学療法士の役割や業務を説明できる ②医療人を目指す学生として求められる適切な身だしなみ・接遇を実践できる ③学内での学習内容を臨床現場で活用できる ④目標とする理学療法士像を持ち、今後の具体的な学習計画を立てることができる
授業計画表	
埼玉医科大学関連施設において1週間の見学実習を行う。 事前学習：3月4日（水） 病院実習：3月5,6,9,10日（4日間） 事後学習：3月11日（水）	
評価方法	1. 実習期間中の4/5以上の出席により、評価と単位認定の対象とする。 ※実習中に欠席と認めるのは、病気や急引きなどの正当な理由がある場合だけである。 2. 単位の認定にあたっては、出席状況、作成課題、事前・事後学習による評価、到達度評価の結果などをもとに理学療法学科内の判定会議にて総合的に判定する。 3. 必要に応じて学内・学外補習を行う。
教科書	適宜プリントを配布する。
参考書	1. 理学療法概論 奈良勲編著 医歯薬出版 2. 基礎運動学 中村隆一他著 医歯薬出版 3. 標準理学療法学 理学療法評価学 医学書院
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 欠席連絡を含め、実習期間中の連絡は川角事務室を窓口とする。 【國澤 洋介】 月～金曜日の12時10分～13時10分 E-mail：kawakado@saitama-med.ac.jp, kunisawa@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	実習の前には実習に必要な知識・技術について十分に準備・確認すること。実習に対しての具体的な目標を設定し、目標が達成できるように努力を怠らない事。また、実習中および終了後には指定された課題を遂行

し、要求水準を満たすとともに、提出等の時間を厳守すること。
(予習時間30分、復習時間30分)

<履修要件>

理学療法概論の科目における「臨床見学実習事前演習(1)～(6)」に全て出席していること。
なお、臨床実習科目の履修については、各科目の履修要件を満たすとともに、これまでの学修状況なども踏まえ、臨床実習に関する判定会議にて総合的に判定します。

<注意事項>

臨床実習に伴う事前指導(ガイダンスなど)、事後学習は、全て臨床実習の一部であり、臨床現場での実習と同様に評価の対象となる。臨床現場における実習において優れた学習成果を修めても、学内における学習活動に問題があれば単位を認定しないことがある。その他、実習に必要な注意事項については、ガイダンスなどで指導する。